

# さくら市スポーツ施設ストック最適化方針

令和8年2月

さくら市

# 目次

1. 概要	01
1.1 方針策定の背景	01
1.2 方針の目的	02
1.3 方針の位置づけ	02
1.3.1 第2次さくら市総合計画	06
1.3.2 さくら市都市計画マスタープラン	06
1.3.3 第9期さくら市高齢者総合保健福祉計画	10
1.3.4 第二次さくら市生涯学習推進計画〔後期計画〕	10
1.3.5 健康21 さくらプラン〔後期計画〕	11
1.3.6 さくら市スポーツ施設ストック最適化指針	12
1.4 対象施設	13
2. 方針策定の手順	14
3. 基本情報の把握	15
3.1 基本情報	15
4. スポーツ施設の現況評価	16
4.1 施設の安全性・機能性に関する基礎情報	16
4.1.1 安全・機能等評価結果一覧表	18
4.2 施設の経済性に関する基礎情報	19
4.2.1 経済性に関する評価結果一覧表	21
4.3 耐震性に関する基礎情報	25
4.4 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討（1次評価）	26
4.4.1 1次評価一覧表	28
5. スポーツ施設の環境評価	29
5.1 スポーツ施設に関する政策方針の検討	29
5.1.1 上位計画	29
5.1.2 人口等の推移	36
5.1.3 各施設の利用者数	39
5.1.4 各施設の利用人数及び使用料	40
5.1.5 令和4年度施設稼働率	41
5.2 政策優先度評価	42
6. スポーツ施設の基本方針に関する検討	56
6.1 スポーツ施設の基本方針に関する検討（2次評価）	56
6.1.1 2次評価一覧表	57

7. スポーツ施設のアンケート調査結果の概要	58
8. 課題の整理	68
9. 個別施設の方向性	70
9.1 個別施設の方向性	70

# 1 概要

## 1.1 方針策定の背景

厳しい財政状況が続くなか、国、地方公共団体ともに、建築物系公共施設及びインフラ系公共施設の老朽化対策が大きな課題となっています。

このため、国は平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化計画」を策定し、平成 26 年 4 月、総務省から「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」の通知により、総合的、中長期的な観点から、公共施設等の総合的かつ計画的な管理をするための計画（公共施設等総合管理計画）策定の要請がなされました。そこで、本市においても「さくら市公共施設等総合管理計画」を平成 29 年 3 月に策定し、令和 3 年度に公共施設等総合管理計画の見直しを行いました。

この中で、スポーツ施設の今後の方針については、以下の方針が示されています。

- ・喜連川地区全体の体育施設の集約化、統合等を総合的に検討し、それらに対応できる施設・機能の整備していきます。
- ・各体育施設の年間利用者数の向上を図ります。
- ・既存のスポーツ施設、温泉施設、医療福祉施設を複合化や連携強化することにより、相互の相乗効果を高め、地域活性化を図ります。
- ・今後も使用するスポーツ施設については、予防保全による長寿命化を推進し、修繕コストの縮減に努めつつ、指定管理者制度などの更なる促進や、省エネ技術の導入、新たな運営財源の確保により、管理・運営コストの縮減を図ります。
- ・施設利用の実態に応じて、他施設への機能移転など、統廃合による施設総量の適正化を検討します。

さらに、平成 30 年 3 月には、地方公共団体が安全なスポーツ施設を継続的に提供し、市民が身近にスポーツを親しむことのできる環境を整備できるよう、スポーツ庁から「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」が公表されました。

本市では、時代や社会の要請、市民ニーズに応え、様々なスポーツ施設を整備してきましたが、施設の老朽化が進み、維持管理費や施設の更新費用の増大による財政への影響が懸念されるとともに、市民が身近にスポーツ施設を維持して利用できる環境を整備するため、「さくら市公共施設等総合管理計画」（令和 4 年 3 月改訂）でスポーツ施設に示された 5 つの方針及び「さくら市スポーツ施設ストック最適化指針」を踏まえ、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき、スポーツ施設ストック最適化方針を策定することにしました。

## 1.2 方針の目的

本市は旧氏家町と旧喜連川町が2005年3月に合併して誕生した市ですが、スポーツ施設は合併以前に整備された施設が多く、施設の老朽化が進んでいます。

財政制約、人口減少、少子高齢化が深刻化するなか、このような社会情勢の変化に対応した計画的なスポーツ施設の在り方が一層求められています。

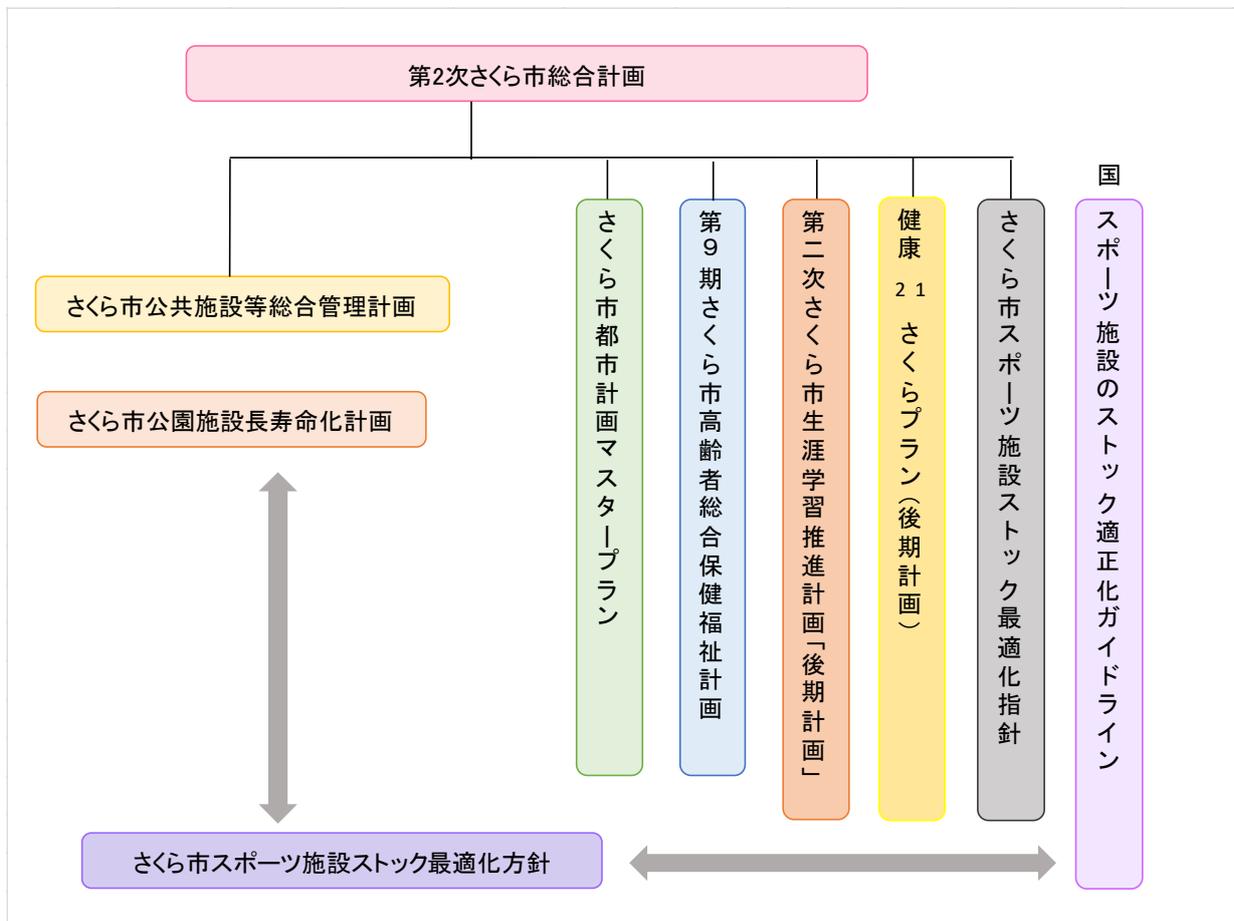
「第2次さくら市総合計画」においては、本市の目指す姿として「充実した生涯スポーツ社会」の実現を掲げています。

また、子どもから高齢者まで誰でも・いつでも・どこでも・いつまでもスポーツを通じて健康で明るく、活力ある生活を送ることができるようスポーツに親しめる環境づくりの推進のため基本事業としてスポーツ施設の整備を掲げています。

本方針は、市内に設置されているスポーツ施設について、現状の把握と分析及び評価の実施並びに課題等を整理し、個別施設ごとの機能保持、総量コントロール及び財政負担の平準化を図り、計画的に事業を推進することにより、市民がスポーツに親しむことができるスポーツ施設の継続的な提供、スポーツ施設の利便性向上を図ることを目的とします。

## 1.3 方針の位置づけ

スポーツ施設ストック最適化計画を策定するにあたり、本市の最上位計画である「第2次さくら市総合計画」「都市計画マスタープラン」「さくら市公共施設等総合管理計画（改訂版）」など各種計画との整合を図り策定します。



参考 出典「さくら市公共施設等総合管理計画(改訂版)」より

■全ての公共施設等の将来更新費用(計画策定当初)

計画策定当初の、建築物系公共施設、インフラ系公共施設の将来更新費用の合計を図1-1に示します。

計画改定時点である令和4(2022)年度から令和38(2056)年度までの35年間の更新等にかかる費用は、1,438.7億円で、平均すると年間41.1億円を要する見込みです。



図1-1 全ての公共施設等の大規模改修・更新等にかかる費用の推計(計画策定当初)

■建築物系公共施設(計画策定当初)

計画策定当初の、本市の建築物系公共施設を全て維持した場合にかかる将来更新費用を図1-2に示します。

計画改定時点である令和4(2022)年度から令和38(2056)年度までの35年間の更新等にかかる費用は、525.5億円で、平均すると年間15.0億円を要する見込みです。



図1-2 建築物系公共施設の大規模改修・更新等にかかる費用の推計(計画策定当初)

## ■インフラ系公共施設(計画策定当初)

計画策定当初の、インフラ系公共施設として道路、橋りょう、上水道(管路)、下水道(管路)についての将来更新費用を試算し、合算したものを図1-3に示します。

計画改定時点である令和4(2022)年度から令和38(2056)年度までの35年間の更新等にかかる費用は、913.2億円で、平均すると年間26.1億円を要する見込みです。



図1-3 インフラ系公共施設の大規模改修・更新等にかかる費用の推計 (計画策定当初)

## ■歳出

本市の歳出の推移を図1-4に示します。

過去4年間の歳出総額は、概ね180億円前後(年平均181.1億円)で推移しています。投資的経費の内、公共施設の建設や用地取得などにかかる普通建設事業費は、平成28(2016)年度及び平成29(2017)年度はそれぞれ36億円、21億円となっていました。令和元(2019)年度では14億円となり、減少しています。今後は、老年人口の増加に伴い、扶助費が更に増加していくことが予想され、公共施設等への投資的経費が更に抑制されていくことが見込まれます。



図1-4 歳出決算額の推移グラフ (金額)

### ■ 普通建設事業費

公共施設の建設や用地取得などの普通建設事業費は、平成28年度は36.43億円ありましたが、令和2年度には12.86億円と年々減少傾向にあり、公共施設等の更新費用は不足する見込みです。

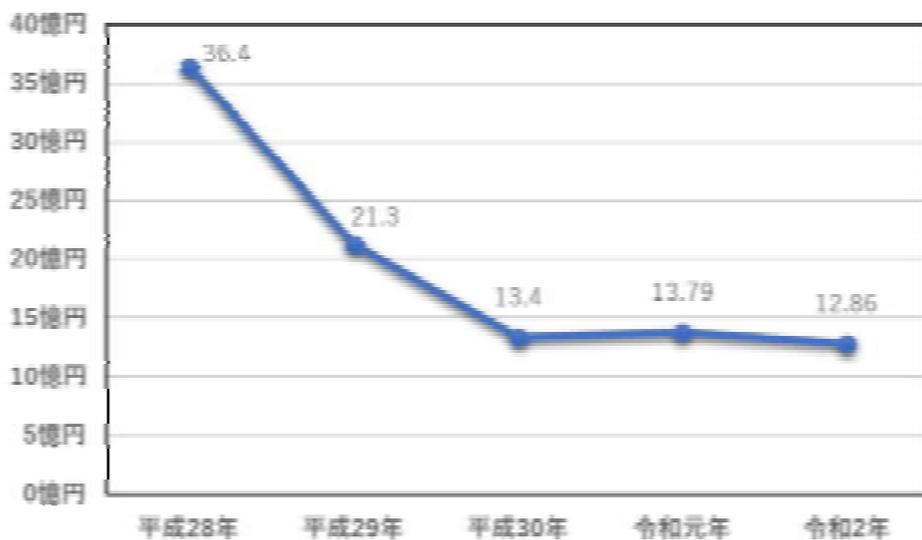


図 1-5 普通建設事業費の推移グラフ

### 1.3.1 第2次さくら市総合計画

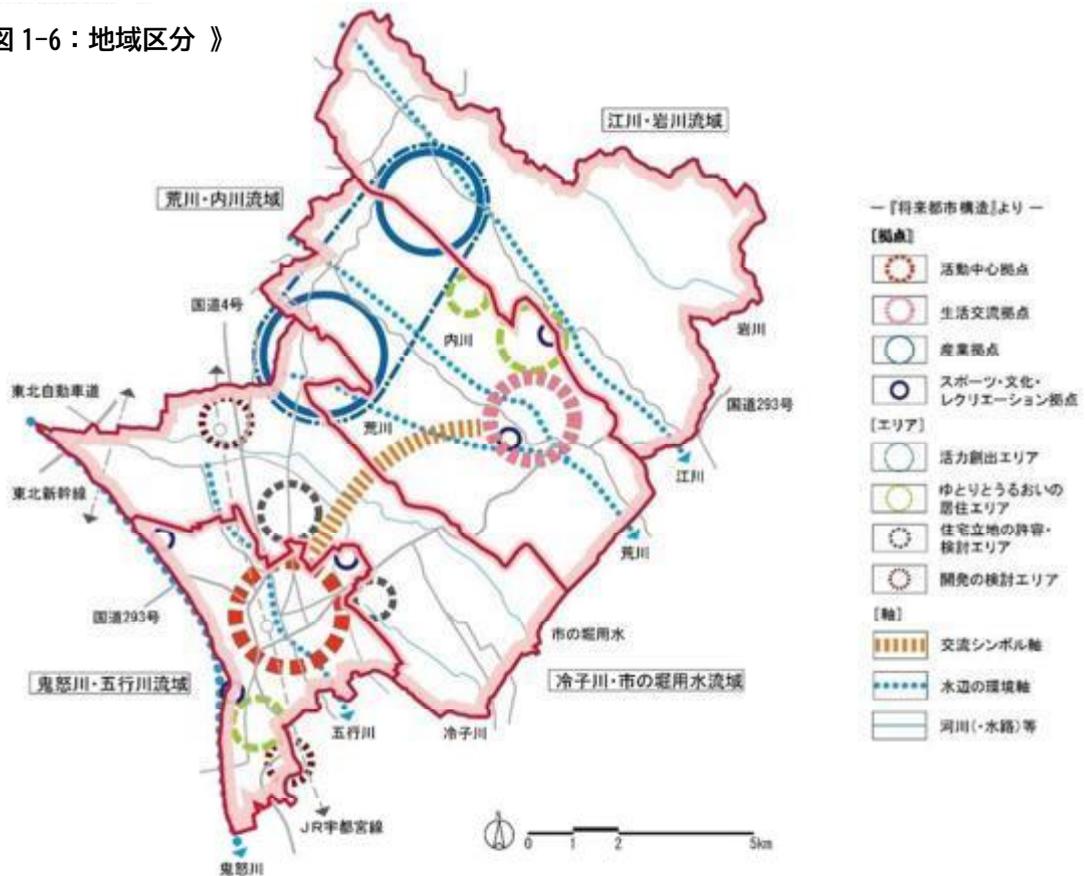
スポーツ施設について、「第2次さくら市総合計画」（基本構想2016～2025，後期基本計画2021～2025）では、「政策Ⅲ～文化薫る心豊かな人材の育成～」の「Ⅲ-4 充実した生涯スポーツ社会の実現」に位置づけ、施策の成果指標である「週1回以上、スポーツレクリエーションをしている市民の割合(%)」は令和2年度に33.2%であるのに対し令和7年度に34.0%とする目標を掲げ、「02. スポーツ施設の整備」では各体育施設の年間利用者数を令和2年度292千人を令和7年度360千人とする目標を掲げています。

### 1.3.2 さくら市都市計画マスタープラン

スポーツ施設について、「さくら市都市計画マスタープラン」（令和3年度～令和22年度）では、第3章全体構想の「1. 交流環境形成の基本方針」の「観光・文化・レクリエーション・スポーツの機能を活かした交流基盤の整備」、「③レクリエーション・スポーツ環境の整備」に位置付けられています。市民の健康増進を図るため、より多くの人々が気軽にスポーツを楽しめるよう、総合公園、鬼怒川運動公園、菖蒲沢公園等における運動施設の充実や交通アクセス環境の強化に努めるとされています。

さらに、第4章地域のまちづくり構想の中で、本市を4つの地域に区分し、各地域におけるまちづくり構想を次のように整理しています。

《 図1-6：地域区分 》



## (1) 鬼怒川・五行川流域

### 1) 地域の特性と役割

#### 【特性】

旧氏家町の中心として古くから市街地が形成され、公共公益施設、JR 宇都宮線・国道 4 号・国道 293 号などの交通軸、その沿線の工業地など、主要な機能が集積しています。

#### 【役割】

氏家総合公園は、「スポーツ・文化レクリエーション拠点」の 1 つとして、市民の交流の場としての役割を担うとされています。

### 2) 地域の基本方針

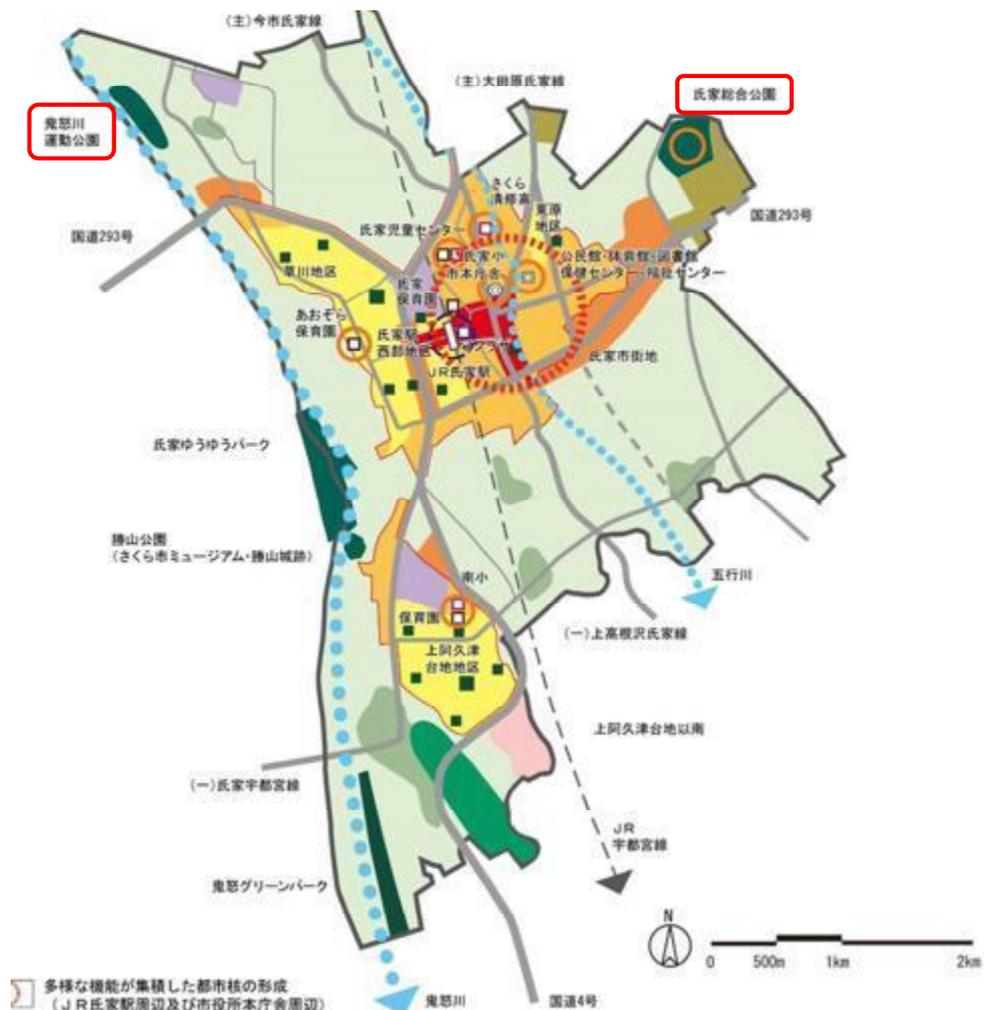
#### ① その他都市施設整備の方針

広域防災拠点である氏家総合公園の機能強化・氏家体育館の適切な維持管理に努める。

#### ② 都市防災の方針

広域防災拠点である氏家総合公園、氏家体育館の避難所の防災機能の強化と避難経路整備に努める。

《 図 1-7：鬼怒川・五行川流域のまちづくりの方針 》



出典「さくら市都市計画マスタープラン」

## (2) 荒川・内川流域

### 1) 地域の特性と役割

#### 【特性】

旧喜連川町の中心となる古くからの市街地が形成され、公共公益施設、国道 293 号等の交通軸、お丸山公園や温泉施設をはじめとする観光資源など、多様な機能が集積しています。

#### 【役割】

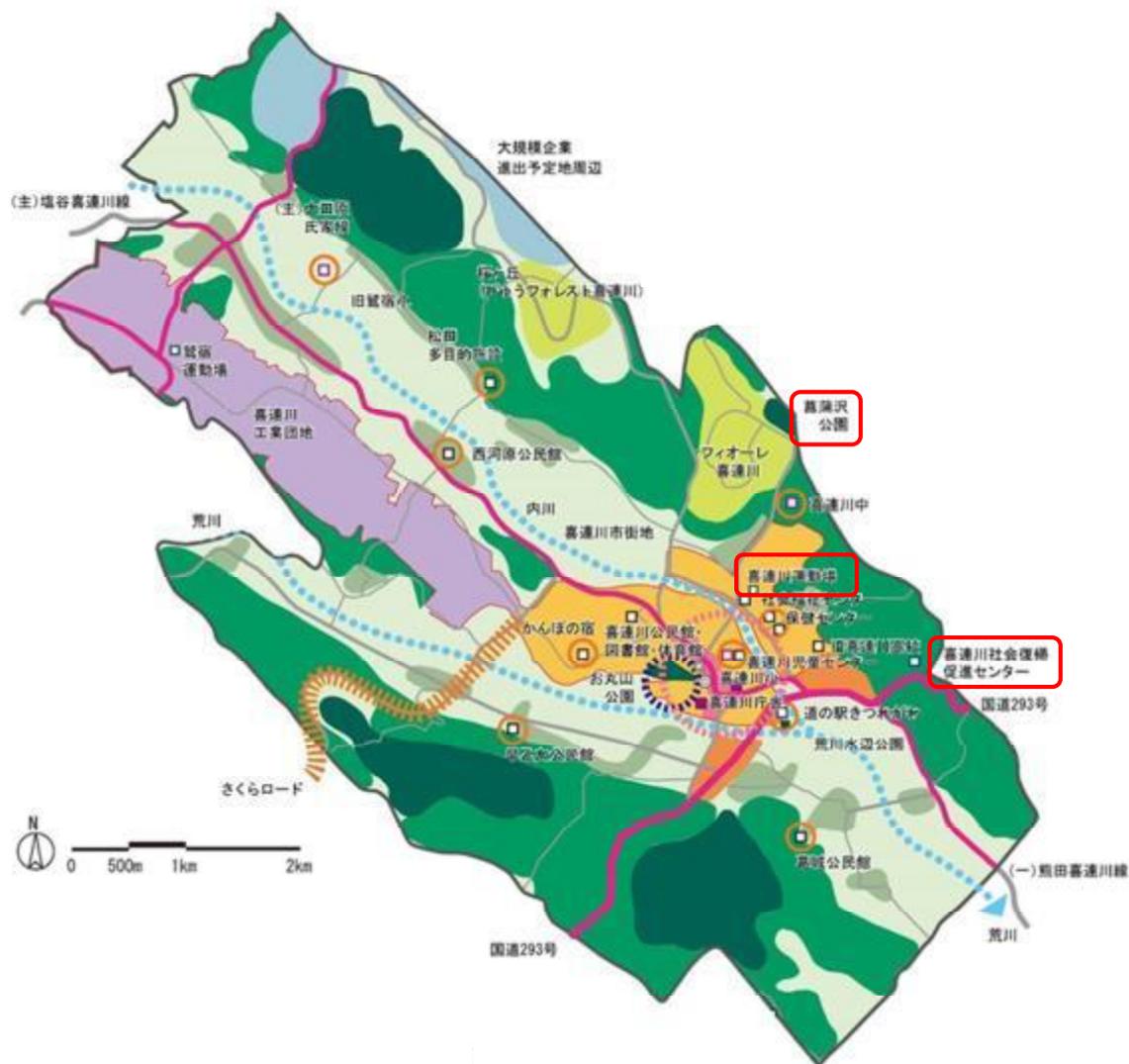
菖蒲沢公園は、「スポーツ・文化レクリエーション拠点」の1つとして市民や来訪者の交流の場としての役割を担うとされています。

### 2) 地域の基本方針

#### ⑤都市防災の方針

避難所に指定される鷲宿体育館の防災機能の強化に努める。

#### 《 図 1-8：荒川・内川流域のまちづくりの方針 》



出典「さくら市都市計画マスタープラン」

### (3) 江川・岩川流域

#### 1) 地域の特性と役割

##### 【特性】

地域のほぼ全域が農業振興地域に指定され、魅力のある田園や喜連川丘陵が入り組む、特徴のある地形を有しています。

#### 2) 地域の基本方針

##### ⑤都市防災の方針

避難所に指定される河戸・金鹿・穂積体育館の防災機能の強化に努める。

#### 《 図 1-9：江川・岩川流域のまちづくりの方針 》



出典「さくら市都市計画マスタープラン」

### 1.3.3 第9期さくら市高齢者総合保健福祉計画

「第9期さくら市高齢者総合保健福祉計画」（令和6年度～令和8年度）では、「第1章 つながる～支え合いつながる地域づくり～」、「第2部 各論」、「3.生きがいくつくりと積極的な社会参加」、「(1)生涯学習、スポーツ活動の推進」、「②スポーツ・レクリエーション活動の推進」の中で『誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむ環境づくり』を実現するため、生涯スポーツの推進とスポーツ施設の整備利用促進を図るとされています。

### 1.3.4 第二次さくら市生涯学習推進計画[後期計画]

スポーツについては、「施策目標Ⅱ いつでも・どこでも・学びあえる機会の充実」の⑤生涯スポーツ・健康づくりの充実に位置づけられています。

施策の方向性としては、生涯にわたってスポーツ活動に取り組めるように「体力と健康づくり活動」「生涯スポーツの啓発」「スポーツライフの推進」をあげています。

施策名	施策の概要	担当課所
体力と健康づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民誰もがスポーツを日常的に親しみ、健康の保持・増進につながる取り組みを推進する。 (アクアビクス教室、ウォーキング教室、ニュースポーツ教室)</li> <li>・生涯にわたって健康で活力ある生活が送れるよう、「健康寿命」の延伸につながる取り組みを推進する。 (生活習慣病予防教室・運動を取り入れた健康教室、減塩の普及啓発、禁煙の普及啓発、健康相談、一般介護予防教室事業)</li> </ul>	高齢課 健康増進課 スポーツ振興課
生涯スポーツの啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、市民の運動機会の創出を図る。 (地域スポーツ活動の推進、市民1人1スポーツ運動の推進)</li> </ul>	スポーツ振興課
スポーツライフの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力ある生涯スポーツ社会の実現を目指すため、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる環境づくりを行う。 (市民体育祭、マラソン大会、市民ハイキング、総合型地域スポーツクラブへの支援)</li> </ul>	スポーツ振興課

### 1.3.5 健康 21 さくらプラン[後期計画]

「いつでも・いきいき健康長寿のまち さくら」を基本理念に、基本目標を①健康寿命の延伸、②健康的な生活習慣づくりとして、スポーツに関しては①の身体活動・運動に位置づけられています。

身体・活動・運動の健康目標として23エクササイズを掲げています。(1)の運動習慣や運動に取り組みやすい環境づくりにおいて、行政での取り組みは、1)運動に関する知識の普及啓発、2)運動のきっかけづくり、3)各種スポーツ教室・大会の開催、4)スポーツ・レクリエーション施設の整備－活用、5)事業所への普及啓発を掲げています。

以上、1.3.1～1.3.3をまとめると、次表の通りとなります。

表1 各施設と上位計画関係一覧表

施設名称	第2次総合計画	都市計画マスタープラン				第9期高齢者 総合保健福祉計画
		レクリエーション・ スポーツ環境の整備	スポーツ文化 レクリエーション拠点	防災機能の強化	適切な維持管理	スポーツ施設の 整備利用促進
氏家体育館				○	○	○
喜連川体育館						○
喜連川運動場サッカー場						○
喜連川運動場テニスコート						○
喜連川弓道場						○
鷺宿体育館				○		○
河戸体育館				○		○
金鹿体育館				○		○
穂積体育館				○		○
喜連川高校跡地体育館						○
喜連川高校跡地第1グラウンド						○
SAKURAグリーンフィールド						○
鬼怒川運動公園サッカー場		○	○			○
鬼怒川運動公園 グラウンドゴルフ場		○	○			○
総合運動公園さくらスタジアム		○	○	○		○
総合公園野球場		○	○			○
総合公園テニスコート		○	○			○
総合公園プール		○	○			○
総合公園バスケットボール		○	○			○
総合公園スポーツウォール		○	○			○
総合公園ゲートボール場		○	○			○
菖蒲沢公園多目的広場		○	○			○
菖蒲沢公園テニスコート		○	○			○
喜連川B&G海洋センター		○	○			○
免田河原グラウンドゴルフ場						

### 1.3.6 さくら市スポーツ施設ストック最適化指針

スポーツ施設の現状や人口の減少、少子高齢化などの社会情勢の変化に鑑み、また、持続可能な地域社会形成に向けたスポーツ施設の有用性も踏まえ、本市のスポーツ施設の目指すべき姿やその最適化について基本的な考え方を示しています。

- スポーツ基本法の理念に則り、市民がスポーツに親しむための環境の提供に努めるとともに、スポーツ施設を使用しない市民を含めた市民全体にとって、最適な投資となるよう、次の指針に基づきストックの最適化を進めます。

#### ①安全なスポーツ施設の継続的な提供

市が保有する施設について計画的な保全を行うことにより、継続的に市民が安心してスポーツに親しむことができる環境を提供します。

#### ②利用状況等を踏まえた集約化等の実施

利用状況における同種の施設との集約化や廃止などにより総量コントロールを行うほか、利用者の少ない施設等については、その要因を分析したうえで利用しやすい環境の整備を行います。

#### ③スポーツ施設としての最適な規模・設備と多様性に富んだ施設整備

市民負担の増大を招かないよう、スポーツ施設としての利用目的と必要な機能を精査し、最適な施設規模・設備による整備を行います。

#### ④利便性の向上や地域コミュニティの再生・創造

施設の集約・再整備時には、複合的な機能の充実など利用者の利便性を高め、また、地域住民の憩いの場や交流の場として地域コミュニティの再生・創出を図ります。

#### ⑤財源確保

維持管理コストの大きな施設については、運営方法の見直し等により維持管理コストの縮減を図るほか、ネーミングライツ、企業広告の導入など、施設を継続的に維持していくために必要な財源の確保に努めます。

## 1.4 対象施設

本市が保有する社会体育施設、都市公園運動施設、その他スポーツ施設のうち、表 1-2 の施設を対象として現況に基づく評価を行います。

表 1-2 対象施設

<p><b>さくら市内の施設</b></p> <p><b>[さくら市が保有する施設]</b></p> <p><b>【社会体育施設】</b></p> <p><b>屋内施設</b></p> <p>氏家体育館、喜連川体育館、喜連川弓道場、鷺宿体育館、河戸体育館、金鹿体育館、穂積体育館、喜連川高校跡地体育館、喜連川 B&amp;G 海洋センター</p> <p><b>屋外施設</b></p> <p>喜連川運動場テニスコート、喜連川高校跡地第 1 グラウンド、SAKURA グリーンフィールド、兎田河原グラウンドゴルフ場</p> <p><b>【都市公園運動施設】</b></p> <p>鬼怒川運動公園サッカー場・鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場、総合公園さくらスタジアム、総合公園野球場、総合公園テニスコート、総合公園バスケットボールコート、総合公園スポーツウォール、総合公園ゲートボール場、菖蒲沢公園多目的広場</p>
--

令和 7 年 3 月 31 日付けで廃止となった以下の施設は対象外ですが、方針の策定にあたり各種評価を実施しました。

- ・喜連川運動場サッカー場
- ・菖蒲沢公園テニスコート
- ・総合公園プール

## 2. 方針策定の手順

本市のスポーツ施設ストック最適化方針の策定手順は次のフロー図のとおりです。

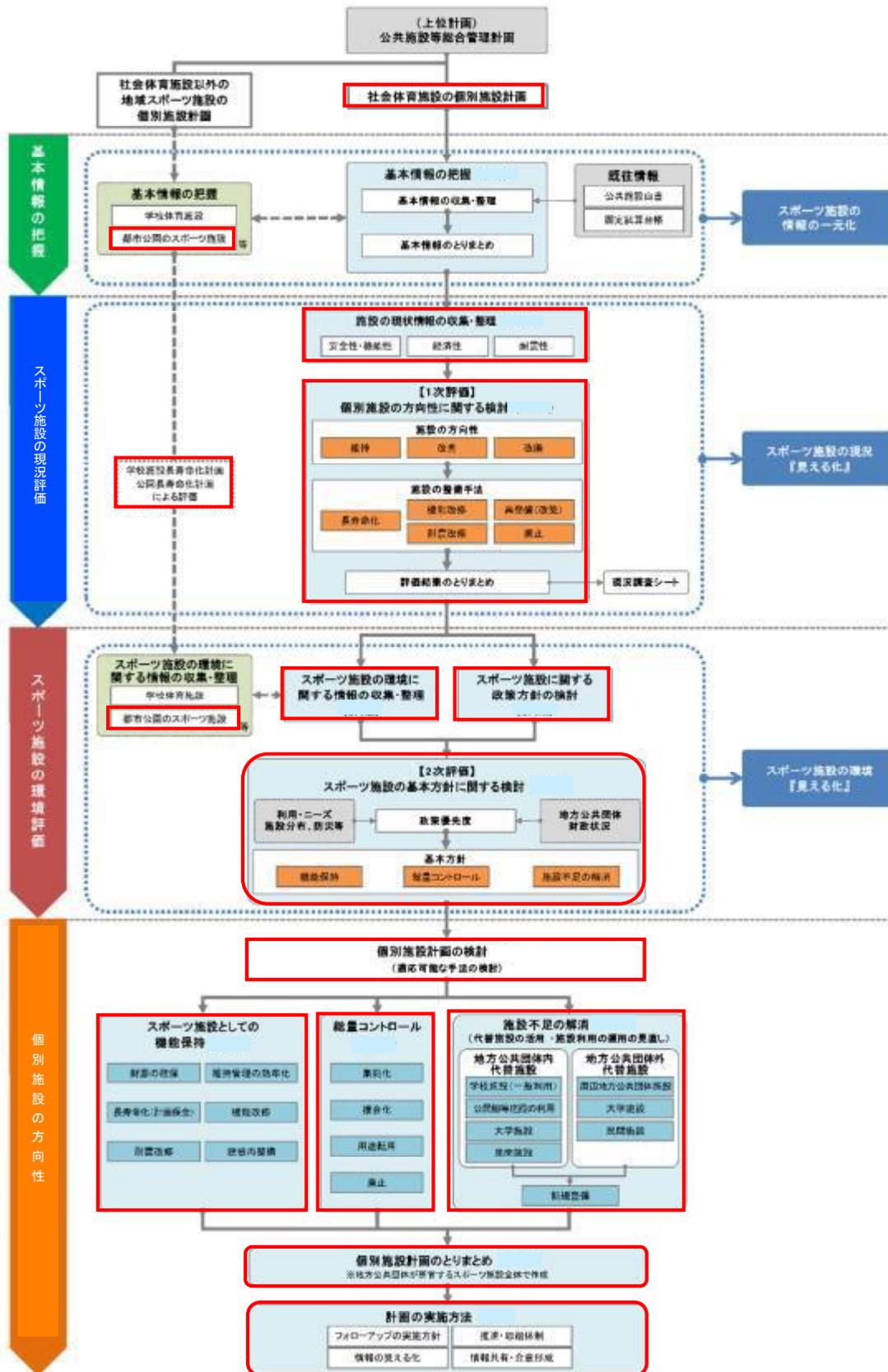


図 2-1 スポーツ施設ストック最適化方針の策定フロー



## 4. スポーツ施設の現況評価

### 4.1 施設の安全性・機能性に関する基礎情報

スポーツ庁が平成30年3月に策定した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき、表4-1のとおり整理します。対象施設の安全性・機能性の基礎情報は表4-2及び表4-3のとおりです。

表4-1にて整理した結果は「4.1.1 安全・機能等評価結果一覧表」のとおりです。

表4-1 安全性・機能性の基礎情報シート表

施設名		項目	内容	現況評価	判定
安全性	経過年数		年		
	躯体の安全性		・剝離、ひび割れ、その他		
	外被性能		・屋根及び外壁等からの漏水の有無		
			・屋根の劣化状況		
		・外壁材の劣化状況			
機能性	空間性能(建築)		・広さ・高さの問題		
			・内装の劣化状況(天井・壁・床・建具等)		
	室内環境性能 (電気・機械)		・空調、衛生、音、光の状況		
			・トイレ、シャワー、更衣室等の整備状況		
			・設備機器、配管等の劣化状況		
			・設備の管理、運転等の問題		
	その他		・バリアフリー対応		
		・省エネ対応			
		・災害対応の状況 (避難スペース、備蓄、防災設備等)			
適合状況		・維持建築物等の定期調査報告 ・建築設備の定期調査報告 ・昇降機等の定期調査報告 ・消防用設備等点検の結果 ・自家用電気工作物定期点検			
施設の外観		・舗装の健全度 ・附帯施設の健全度 (フェンス、スコアボード、タグアウト、観覧席) ・熱中症対策の状況(屋根、ひさし、木陰等)			
スポーツ施設の安全対策		・屋内スポーツフロア (すべり転倒、床板割れ、床金物の緩み等) ・プールの安全管理 (飛び込み溺れ、排水吸込) ・特定天井対策の状況 ・AED等の設置状況			
備考					

表 4-2 「安全性・機能性」の評価の考え方

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に劣化・不具合等の事象が確認されない。</li> <li>・ 部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い(日常的な保守管理及び経過観察により対応)。</li> <li>・ 法定点検での是正報告がない、又は是正事項が既に改善されている(改善予定も含む)。</li> <li>・ スポーツ施設の安全対策がなされている。</li> </ul>	→良
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的な劣化・不具合等、若しくは著しい劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。</li> <li>・ 劣化・不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限、又は緊急に補修若しくは改修が必要である。</li> <li>・ 法定点検での是正報告があり、是正が長期間放置されている、若しくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。</li> <li>・ 重大な事故の恐れがある安全に関する対策が実施されていない。</li> </ul>	→劣

表 4-3 評価基準の参考事例

指標	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に健全である。</li> <li>・ 緊急の修繕の必要がないため、日常の維持管理で管理するもの。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に健全だが、部分的な劣化が進行している。</li> <li>・ 緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に劣化が進行している。</li> <li>・ 現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要なもの。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に顕著な劣化がある。</li> <li>・ 重大な事故につながる恐れがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、若しくは更新が必要とされる。</li> </ul>

出典「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」(平成 24 年 4 月国土交通省都市局公園緑地・景観課)

#### 4.1.1 安全・機能等評価結果一覧表

##### (1) 屋内施設

施設名称	区分	評価項目				評価結果
		安全性	機能性	法令の適合性	安全対策等	
氏家体育館	建築物	B	A	A	B	良
喜連川体育館	建築物	D	D	C	C	劣
喜連川弓道場	建築物	C	C	—	B	劣
鷲宿体育館	建築物	C	D	B	C	劣
河戸体育館	建築物	D	C	C	C	劣
金鹿体育館	建築物	C	C	B	C	劣
穂積体育館	建築物	D	C	C	C	劣
喜連川高校跡地体育館	建築物	B	A	C	B	良
喜連川B&G海洋センター	建築物	B	B		A	良

##### (2) 屋外施設

施設名称	区分	評価項目			評価結果
		舗装健全度	附帯施設の健全度	熱中症対策	
喜連川運動場サッカー場	非建築物	B	D	C	劣
喜連川運動場テニスコート	非建築物	C	C	B	劣
喜連川高校跡地第1グラウンド	非建築物	B	B	C	良
SAKURAグリーンフィールド	非建築物	A	A	C	良
鬼怒川運動公園サッカー場	非建築物	B	B	B	良
鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場	非建築物	B	B	B	良
総合運動公園さくらスタジアム	非建築物	B	A	A	良
総合公園野球場	非建築物	A	B	A	良
総合公園テニスコート	非建築物	A	A	C	良
総合公園プール	建築物・非建築物	C	C	A	劣
総合公園バスケットボールコート	非建築物	B	A	C	良
総合公園スポーツウォール	非建築物	A	A	C	良
総合公園ゲートボール場	非建築物	B	B	A	良
菖蒲沢公園多目的広場	非建築物	A	B	A	良
菖蒲沢公園テニスコート	非建築物	C	B	A	劣
兎田河原グラウンドゴルフ場	非建築物	B	B	C	良

## 4.2 施設の経済性に関する基礎情報

スポーツ施設の経済性に関する基礎情報については、次の事項を基準に算出します。

- ・建物使用年数は国土交通省の長寿命化に向けた対策の中で、長寿命化の推進として、既存施設の平均使用年数を40年から65年程度へ延ばすことを目指すことが掲げられています。これを踏まえ、ライフサイクルコストは65年で費用の算出を行い、残存期間のライフサイクルコストを改めて算出しました。(出典「令和5年度版建築物のライフサイクルコスト」「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」)
- ・ライフサイクルコストの算出は、床面積入力法により行いました。
- ・屋外運動施設の耐用年数は国土交通省都市局「公園施設長寿命化計画策定指針の処分制限期間及び使用見込み期間に基づき、費用の算出を行い、残存期間のライフサイクルコストを改めて算出しました。

また、「経済性」評価の評価基準については、表4-4に基づき行いました。

### 【「経済性」の評価】

- ・「経済性」の評価については、表4-5～4-7を基に改善コスト(※1)、維持管理コスト(※2)、利用料金収入(※3)、等を総合的に評価し、施設の方向性について「改善」又は「改廃」を検討しました。
- ・収支バランスについては、施設の更新修繕や機能改修・耐震改修のみではなく、運営維持管理方法の見直しにより改善される可能性もあるため、評価に当たっては留意する必要があります。

※1：改善コスト：施設の機能改修や耐震改修に必要となる費用を指す。詳細なコスト算出ができない場合、施設の現況評価が低い施設や、竣工年が古くこれまで大規模改修等を実施していない施設は、改善コストが多いと評価できる。

※2：維持管理コスト：今後発生が見込まれる更新修繕費、運営管理費、光熱水費・通信費の費用を指す。

※3：利用料金収入：施設利用者から徴収する減免後の料金等を指す。

表4-4 「経済性」評価の評価基準

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・改善コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。</li><li>・収入が多く、今後も施設利用が見込める。</li><li>・維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。</li></ul>	→良
<ul style="list-style-type: none"><li>・改善コスト及び維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がない。</li><li>・相対的、若しくは目標値に対して、著しく状況が悪い。</li></ul>	→劣

### ※改善コスト

単年度LCCに対し利用料金収入が  
(D/A)

5%以上の施設：A  
4%以上～5%未満の施設：B  
3%以上～4%未満の施設：C  
3%以下の施設：D

### ※維持管理コスト

①維持管理費に対し収入が  
(D/B)

5%以上の施設：A  
4%以上～5%未満の施設：B  
3%以上～4%未満の施設：C  
3%以下の施設：D

②財源コスト：利用者1人当りの財源負担額

0～500円：A  
500円以上～1,000円未満：B  
1,000円以上～1,500円未満：C  
1,000円以上：D

### ※利用料金収入

①減免後の利用料金が

1,000千円以上：A  
700千円以上～1,000千円未満：B  
400千円以上～700千円未満：C  
400千円未満：D

(LCC：「ライフサイクルコスト」の略)

## 4.2.1 経済性に関する評価結果一覧表

### (1) 屋内施設

施設名称	単年度LCC (A) 千円	維持管理費 (B) 千円	財源コスト (C)	利用料金 収入(D)	D/A	D/B	評価
氏家体育館	30,091	21,137	323 (A)	1,999 (A)	6.6 (A)	9.5 (A)	良
喜連川体育館	16,967	9,433	379 (A)	887 (B)	5.2 (A)	9.4 (A)	良
喜連川弓道場	1,337	1,167	832 (B)	37 (D)	2.8 (D)	3.2 (C)	劣
鷺宿体育館	7,775	1,449	497 (A)	168 (D)	2.2 (D)	11.6 (A)	劣
河戸体育館	5,542	1,689	3,504 (D)	21 (D)	0.4 (D)	1.2 (D)	劣
金鹿体育館	7,818	1,133	1,403 (D)	30 (D)	0.4 (D)	2.6 (D)	劣
穂積体育館	4,947	7,193	— (D)	— (D)	0.0 (D)	0.0 (D)	劣
喜連川高校跡地体育館	20,972	3,975	617 (B)	236 (D)	1.1 (D)	5.9 (A)	劣
喜連川B&G海洋センター	9,577	24,737	2,628 (D)	1,001 (A)	10.4 (A)	4.0 (B)	良

### (2) 屋外施設

施設名称	単年度LCC (A) 千円	維持管理費 (B) 千円	財源コスト (C) 千円	利用料金 収入(D)	D/A	D/B	評価
喜連川運動場サッカー場	11,728	15,637	1,597 (D)	106 (D)	0.9 (D)	1.0 (D)	劣
喜連川運動場テニスコート	1,596			52 (D)	3.3 (C)	1.0 (D)	劣
喜連川高校跡地第1グラウンド	7,330	3,975	617 (B)	59 (D)	0.8 (D)	1.5 (D)	劣
SAKURAグリーンフィールド	16,332	4,080	53 (A)	2,539 (A)	15.5 (A)	62.2 (A)	良
鬼怒川運動公園サッカー場 グラウンドゴルフ場	25,302	7,275	571 (B)	1,087 (A)	4.3 (B)	14.9 (A)	良
総合運動公園さくらスタジアム	41,334	25,306	1,148 (C)	1,029 (A)	2.5 (D)	4.1 (B)	劣
総合公園野球場	21,490	39,761		527 (B)	2.5 (D)	6.3 (A)	良
総合公園テニスコート	4,703		1,331 (D)	1,982 (A)	42.1 (A)	6.3 (A)	良
総合公園プール	7,054			—	—	—	
総合公園バスケットボール	444			—	—	—	
総合公園スポーツウォール	5,608			—	—	—	
総合公園ゲートボール場	1,134			—	—	—	
菖蒲沢公園多目的広場	18,502	8,885	1,340 (D)	172 (D)	0.9 (D)	2.4 (D)	劣
菖蒲沢公園テニスコート	1,423			41 (D)	2.9 (D)	2.4 (D)	劣
兎田河原グラウンドゴルフ場	20,411	2,636	—	—	—	—	

表 4-5 経済性に関する基礎情報一覧表 (2-1)

単位:千円

施設名	LCC集計表				合計
	運用コスト	維持管理コスト	修繕費コスト	解体処分コスト	
氏家体育館	43,971	35,403	278,513	183,767	541,654
喜連川体育館	29,993	24,148	172,386	112,814	339,341
喜連川運動場サッカー場	—	47,952	57,600	—	105,552
喜連川運動場テニスコート	—	—	11,828	4,140	15,968
喜連川弓道場	3,928	3,162	34,774	8,955	50,819
鷲宿体育館	15,844	12,756	155,779	41,099	225,478
河戸体育館	8,072	6,499	51,457	33,738	99,766
金鹿体育館	16,973	13,665	161,370	42,561	234,569
穂積体育館	9,008	7,253	55,361	32,270	103,892
喜連川高校跡地体育館	7,668	6,174	81,828	72,110	167,780
喜連川高校跡地第1グラウンド	—	29,970	36,000	—	65,970
SAKURAグリーンフィールド	—	—	263,980	13,680	277,660
鬼怒川運動公園サッカー場	—	144,387	200,613	—	345,000
鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場	—	99,194	137,752	—	236,946
総合運動公園さくらスタジアム	46,788	732,643	839,440	34,503	1,653,374
総合公園野球場	—	185,904	200,923	—	386,827
総合公園テニスコート	—	—	98,799	—	98,799
総合公園プール	31,938	103,942	275,905	46,741	458,526
総合公園バスケットボール	—	—	7,425	1,012	8,437
総合公園スポーツウォール	—	—	118,649	4,739	123,388
総合公園ゲートボール場	—	14,664	5,749	—	20,413
菖蒲沢公園多目的広場	—	147,158	167,380	—	314,538
菖蒲沢公園テニスコート	—	—	21,516	4,107	25,623
喜連川B&G海洋センター	19,516	15,713	191,888	50,626	277,743
兎田河原グラウンドゴルフ場	—	89,838	155,000	—	244,838

※運用コスト及び維持管理コスト・修繕費コストについては令和7年度からのコストを計上

表 4-6 経済性に関する基礎情報一覧表 (2-2)

単位:千円

施設名	LCC合計金額 千円	予防保全型 残存期間	単年度の LCCコスト (A) 千円	収入 (令和5年度) (C) 千円	C/A %
氏家体育館	541,654	18	30,091	1,999	6.6%
喜連川体育館	339,341	20	16,967	887	5.2%
喜連川運動場サッカー場	105,552	9	11,728	106	0.9%
喜連川運動場テニスコート	15,968	10	1,596	52	3.3%
喜連川弓道場	50,819	38	1,337	37	2.8%
鷺宿体育館	225,478	29	7,775	168	2.2%
河戸体育館	99,766	18	5,542	21	0.4%
金鹿体育館	234,569	30	7,818	30	0.4%
穂積体育館	103,892	21	4,947	0	0.0%
喜連川高校跡地体育館	167,780	8	20,972	236	1.1%
喜連川高校跡地第1グラウンド	65,970	9	7,330	59	0.8%
SAKURAグリーンフィールド	277,660	17	16,332	2,539	15.5%
鬼怒川運動公園サッカー場	345,000	23	15,000	1,087	4.3%
鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場	236,946	23	10,302	0	%
総合公園さくらスタジアム	1,653,374	40	41,334	1,029	2.5%
総合公園野球場	386,827	18	21,490	527	2.5%
総合公園テニスコート	98,779	21	4,703	1,982	42.1%
総合公園プール	458,526	65	7,054	—	0.0%
総合公園バスケットボール	8,437	19	444	—	0.0%
総合公園スポーツウォール	123,388	22	5,608	—	0.0%
総合公園ゲートボール場	20,413	18	1,134	—	0.0%
菖蒲沢公園多目的広場	314,538	17	18,502	172	0.9%
菖蒲沢公園テニスコート	25,623	18	1,423	41	2.9%
喜連川B&G海洋センター	227,743	29	9,577	1,001	10.4%
兎田河原グラウンドゴルフ場	244,938	12	20,411	—	0.0%

単位：千円

表4-7 スポーツ施設一人当り税負担額

区分	R5年利用者数		利用料金収入		維持管理費(千円)	一人当り税負担額												
	R5年市人口	減免後収入	R5年市人口	減免後収入		0	200	400	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	3,000	3,500
氏家体育館	59,194	4,971	21,137	273	323	436												
喜連川体育館	43,850	1,999	9,433	343	379	195												
喜連川運動場サッカー場	22,566	1,688	15,637	1534	11597													
喜連川運動場テニスコート	43,850	887	1,167	80	832	25												
喜連川弓道場	7,494	463	1,449	492	457	29												
鷹宿体育館	2,197	308	1,689	38	1,133	25												
喜連川運動場テニスコート	43,850	52	1,133	1374	1403	3502	3504											
河戸体育館	476	22	7,193	0	164													
金鹿体育館	786	53	7,950	510	617													
穂積体育館	786	30	4,080	7	53	35												
穂積体育館	0	0	7,275	141	571													
喜連川高校跡地体育館	43,850	1,298	25,306	1080	1148													
喜連川高校跡地第1グラウンド	4,286	325	4,080	53	35													
SAKURAグリーンフィールド	29,303	3,882	7,275	141	571													
鬼怒川運動公園	43,850	1,087	25,306	1080	1148													
総合公園さくらスタジアム	21,141	2,469	39,760	1209	1331	850												
総合公園野球場	43,850	1,029	25,306	554														
総合公園テニスコート	12,056	2,869	39,760	1209	1331													
総合公園バスケットボールコート	43,850	0	39,760	1209	1331													
総合公園ゲートボール場	1,989	0	39,760	1209	1331													
総合公園プール	43,850	0	39,760	1209	1331													
普蒲沢公園多目的広場	6,254	786	8,885	1245	1340													
普蒲沢公園テニスコート	43,850	172	8,885	1245	1340													
喜連川B&G海洋センター	219	41	24,737	198	541													
喜連川B&G海洋センター	43,850	41	24,737	198	541													
現田河原グラウンドゴルフ場	9,029	1,001	2,636															
現田河原グラウンドゴルフ場	43,850	1,001	2,636															

※ は(維持管理費-利用料金収入)/R5利用約数

は(維持管理費-減免後収入)/R5市人口

は(維持管理費-減免後収入)/R5利用客数

### 4.3 耐震性に関する基礎情報

スポーツ施設のうち、建築物について耐震性を調査した結果は表 4-8 のとおりです。

表 4-8 耐震に関する基礎情報一覧表

施設名	設置年度	適合する耐震基準	耐震診断	耐震改修
氏家体育館	昭和52年4月1日 (1977.4.1)	旧耐震基準	有	要・済
喜連川体育館	昭和54年3月1日 (1979.3.1)	旧耐震基準	有	要・未済
喜連川弓道場	平成4年4月1日 (1992.4.1)	新耐震基準	不要	不要
鷲宿体育館	昭和63年 (1988.4.1)	新耐震基準	不要	不要
河戸体育館	昭和53年 (1978.4.1)	旧耐震基準	無	要・未済
金鹿体育館	平成元年 (1989.4.1)	新耐震基準	不要	不要
穂積体育館	昭和55年4月1日 (1980.4.1)	旧耐震基準	無	要・未済
喜連川高校跡地体育館	昭和42年 (1967.4.1)	旧耐震基準	無	要・未済
総合公園さくらスタジアム	平成28年 (2016)	新耐震基準	不要	不要
総合公園プール管理棟	昭和63年 (1988)	新耐震基準	不要	不要
喜連川B&G 海洋センター	令和5年 (2023) 改修	新耐震基準	不要	不要

#### 4.4 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討(1次評価)

4.1～4.3において収集・整理した基礎情報をもとに各施設の現況を評価し、施設の方向性及び整備方法を検討しました。

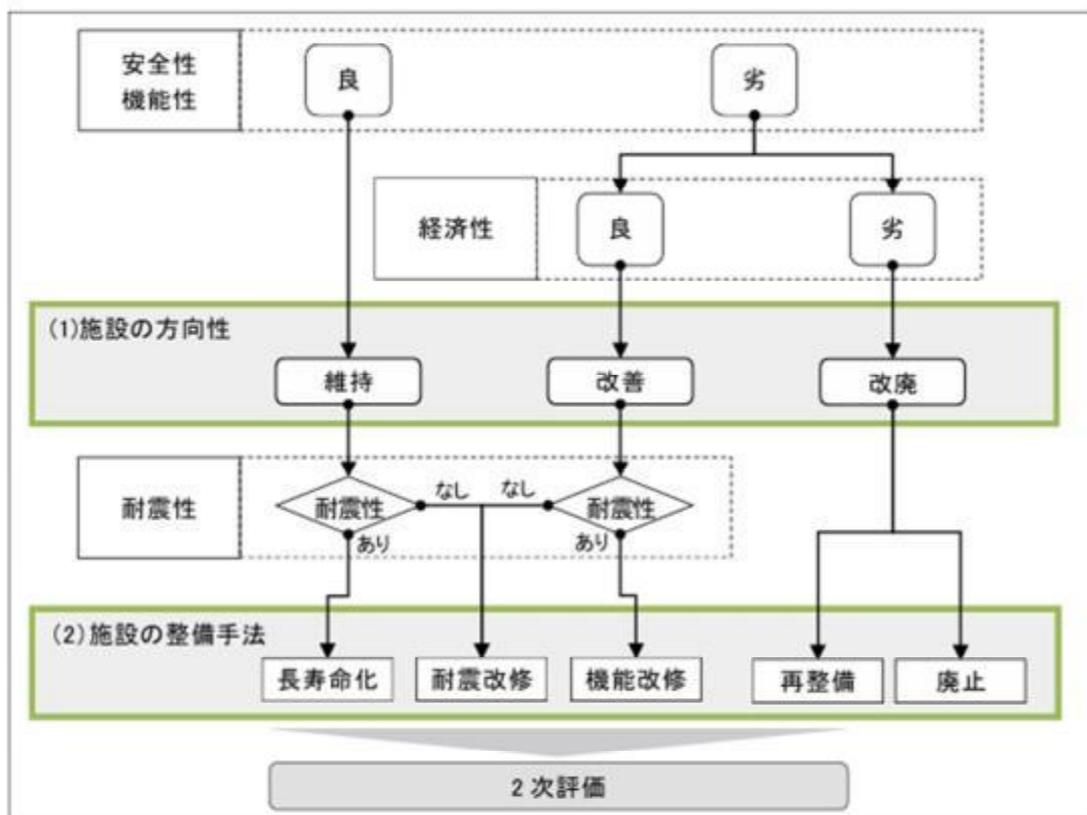


図 4-1 個別施設の方向性の検討(1次評価)のフロー

##### (1) 施設の方向性の検討

- それぞれの施設に対して「維持」、「改善」、「改廃」の方向性を検討しました。
- 「安全性・機能性」については、スポーツ施設のストック適正化ガイドラインを参考に表 4-2 のような考えに基づき、「良」、「劣」の評価を行いました。
- 「経済性」の評価については、表 4-4 の評価基準に基づき、「良」、「劣」の評価を行いました。
- 表 4-5～4-7 を基に改善コスト、維持管理コスト、利用料金収入等を総合的に評価し、施設の方向性について、「改善」又は「改廃」を検討しました。

## (2) 施設の整備手法の検討

施設の方向性が「維持」又は「改善」となった施設（屋内施設）は、「耐震性」の評価を行い、施設の整備手法について検討を行いました。

「耐震性」の評価は次のとおり行いました。

### （「耐震性」の評価）

- ・ 「耐震性」の評価手順は、図 4-2 に示すとおり。
- ・ 「設計時の耐震基準の確認」において、いつの耐震基準により設計されたかを確認する。耐震基準は 1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日で変わるため、竣工日が近い場合は、建築確認申請の審査済証の完了日付で確認を行う。  
旧耐震基準で設計された建物は耐震診断の実施が必要であるため、その実施有無及び耐震診断結果を確認する。  
新耐震基準により設計された建物については、「耐震性」は問題なしと評価する。
- ・ 耐震診断の実施が必要であるが実施していない建物は、現時点では「耐震性」を判断できないため、問題ありと評価する。
- ・ 耐震診断を実施した建築物のうち、耐震改修の必要性がないと診断された建築物は、「耐震性」に問題なしと評価する。
- ・ 耐震改修が必要と診断された建築物のうち、耐震改修が未実施の建築物は、「耐震性」に問題ありと評価し、耐震改修工事の実施後に「耐震性」に問題なしと評価を変更する。

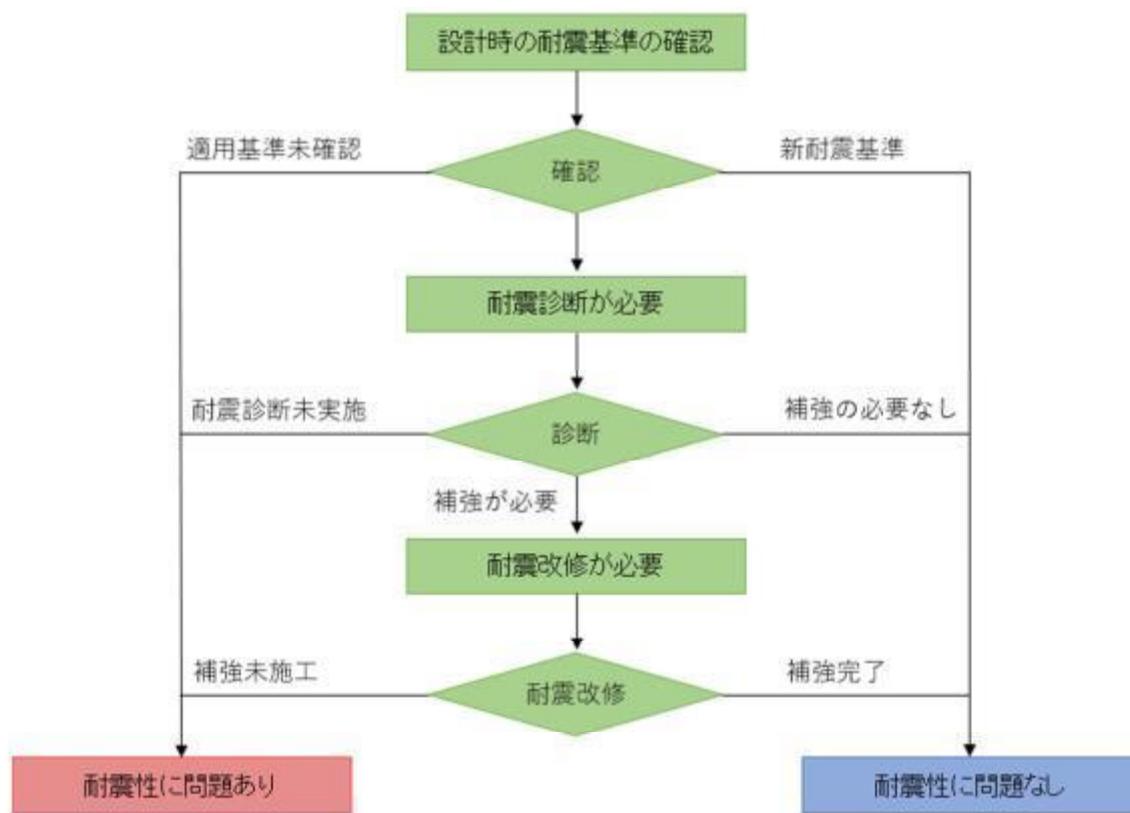


図 4-2 「耐震性」評価のフローチャート

#### 4.4.1 1次評価一覧表

##### (1) 屋内施設

施設名称	区分	安全性 機能性	経済性	施設の 方向性	耐震性	施設の 整備手法
氏家体育館	建築物	良	良	維持	耐震性有り	長寿命化
喜連川体育館	建築物	劣	良	改善	耐震性問題有り	機能改善
喜連川弓道場	建築物	劣	劣	改廃	耐震性有り	廃止
鷺宿体育館	建築物	劣	劣	改廃	耐震性有り	廃止
河戸体育館	建築物	劣	劣	改廃	耐震性問題有り	廃止
金鹿体育館	建築物	劣	劣	改廃	耐震性有り	廃止
穂積体育館	建築物	劣	劣	改廃	耐震性問題有り	廃止
喜連川高校跡地体育館	建築物	良	劣	維持	耐震性問題有り	機能改修
喜連川B&G海洋センター	建築物	良	良	維持	耐震性有り	長寿命化

##### (2) 屋外施設

施設名称	区分	安全性 機能性	経済性	施設の 方向性	耐震性	施設の 整備手法
喜連川運動場サッカー場	非建築物	劣	劣	改廃	—	廃止
喜連川運動場テニスコート	非建築物	劣	劣	改善	—	廃止
喜連川高校跡地第1グラウンド	非建築物	良	劣	維持	—	機能改修
SAKURAグリーンフィールド	非建築物	良	良	維持	—	長寿命化
鬼怒川運動公園サッカー場	非建築物	良	良	維持	—	長寿命化
鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場	非建築物	良	良	維持	—	長寿命化
総合運動公園さくらスタジアム	非建築物	良	劣	維持	—	長寿命化
総合公園野球場	非建築物	良	良	維持	—	機能改修
総合公園テニスコート	非建築物	良	良	維持	—	機能改修
総合公園プール	建築物 非建築物	劣	劣	改廃	—	廃止
総合公園バスケットボール	非建築物	良	良	維持	—	機能改修
総合公園スポーツウォール	非建築物	良	良	維持	—	機能改修
総合公園ゲートボール場	非建築物	良	良	維持	—	機能改修
菖蒲沢公園多目的広場	非建築物	良	劣	維持	—	機能改修
菖蒲沢公園テニスコート	非建築物	劣	劣	改廃	—	廃止
兎田河原グラウンドゴルフ場	非建築物	良	良	維持	—	長寿命化

## 5. スポーツ施設の環境評価

本市のスポーツ施設全体の方針に基づき、施設の現況評価に加え、スポーツ施設の提供、利用等の視点から評価を行い、個別施設の基本方針を定めました。

### 5.1 スポーツ施設に関する政策方針の検討

本市が保有するスポーツ施設全体の総合的な考え方や方針について検討を行います。

#### 5.1.1 上位計画

- 第2次さくら市総合計画

## Ⅲ-4 充実した生涯スポーツ社会の実現

### ■ 施策のめざす姿

市民が定期的にスポーツや体を動かすレクリエーションを楽しんでいます。

### ■ 施策の成果指標

指標名	現状値	目標値
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	33.2% (R2年度)	34.0% (R7年度)

### ■ 基本事業の構成

基本事業名と目指す姿	指標名	現状値	目標値
<b>基本事業1</b> <b>生涯スポーツ活動の充実</b> 各種スポーツ教室、大会等が開催され、多くの市民が参加しています。	各種スポーツ教室・大会の延べ参加者数	136千人 (R2年度)	145千人 (R7年度)
<b>基本事業2</b> <b>スポーツ施設の整備</b> 市民が希望するスポーツ施設が整備され、多くの市民が利用しています。	<span style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px;">重点</span> <span style="background-color: #9c27b0; color: white; padding: 2px;">強靱化</span> 市内の体育施設の年間延べ利用者数	292千人 (R2年度)	360千人 (R7年度)
<b>基本事業3</b> <b>スポーツ団体・指導者の育成</b> 指導者が充実し、スポーツ団体の活動が盛んに行われます。	スポーツ団体、教室等の指導者数	412人 (R2年度)	430人 (R7年度)

■ さくら市都市計画マスタープラン

施設名	スポーツ・レクリエーション拠点	防災拠点機能強化	避難所	都市施設の整備	観光交流核の形成
氏家体育館		○機能強化		適切な維持管理	
喜連川体育館				適切な維持管理	○
喜連川運動場					
喜連川運動場テニスコート					
喜連川弓道場					
鷺宿体育館			○防災機能強化		
河戸体育館			○防災機能強化		
金鹿体育館			○防災機能強化		
穂積体育館			○防災機能強化		
喜連川高校跡地体育館					
喜連川高校跡地第1グラウンド					
SAKURAグリーンフィールド					
鬼怒川運動公園	○				
総合公園さくらスタジアム	○	○機能強化			
総合公園野球場	○				
総合公園テニスコート	○				
総合公園バスケットボールコート	○				
総合公園プール	○				
総合公園ゲートボール場	○				
菖蒲沢公園多目的広場	○				
菖蒲沢公園テニスコート	○				
喜連川B&G海洋センター					
兔田河原グラウンドゴルフ場					

■ 第9期さくら市高齢者総合保健福祉計画

・ スポーツ、レクリエーション活動の推進

「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむ環境づくり」を実現するため、生涯スポーツの推進とスポーツ施設の整備・利用促進を図ります。

➤ いきいきスポーツ教室

市内在住の60歳以上の方10名以上で構成された、ラージボール卓球、ショートテニス等のスポーツ活動を行う団体の増加を図ります。

## いきいきスポーツ教室の実績と目標

(単位：認定団体数…団体)

項目	実績			目標		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認定団体数	13	13	12	12	12	12

※令和5年度については実績見込の数

### ■ さくら市公共施設等総合管理計画（改訂版）

- ・建築物系公共施設に関する基本方針



#### 建築物系公共施設 総量削減目標

延床面積 10%の削減

##### ① 財政状況や人口規模に応じた施設総量の削減

将来において支出可能な財政規模及び人口の減少傾向の見通しを考慮し、施設総量を延床面積で10%削減することを目標とします。

##### ② 新規整備の抑制と施設運用コストの効率化

既存施設の長寿命化や有効活用を図ることで、新規整備を極力抑制するとともに、施設運用に係るコストを把握し、効率的・効果的な施設運用を実施します。

##### ③ 施設の集約化・複合化と市民サービスの維持・向上

施設の集約化・複合化によって、施設の利用率・稼働率の向上を図るとともに、市民サービスの水準の維持・向上を図ります。

- ・維持管理、修繕、更新等の実施方針

#### ➤ 建築物系公共施設

前述の点検・診断等の結果に基づき経済性や効率性、安全性に留意して、計画的な予防保全型の維持管理及び修繕を行います。また、施設利用者の声を踏まえて、可能な限り、快適性・機能性の向上を図ります。

施設の更新にあたっては、“施設サービスのあり方”の検討を踏まえ、適正な規模を検討するとともに、施設の集約化、複合化、民間施設の活用、統合・廃止等を検討し、効率的かつ適切な施設配置を目指します。前節で述べた通り、施設総量の適正化を目指す必要があるため、原則として、新規施設の整備は極力行わず、施設規模縮小の可能性を検討します。

- ・安全確保と耐震化の実施方針

#### ➤ 建築物系公共施設

施設を継続して安全に利用できるよう、定期的な点検と適切な維持管理を行い、安全確保を図ります。供用を廃止した施設は、老朽化などによる施設の危険度を踏まえて活用方法の判断をします。また、「さくら市建築物耐震改修促進計画(三期計画)」に基づき、防災上重要な市有建築物については、目標となる耐震化率を確保していきます。

・長寿命化の実施方針

➤ 建築物系公共施設

施設の老朽化状況、耐震化状況などを考慮し、ライフサイクルコストの削減を見込むことができる施設を長寿命化実施の対象とします。長寿命化に際し、定期点検や予防保全の結果を踏まえて改修を計画的に実施することにより、施設の劣化の進行を遅らせ、施設の機能を長期間にわたり保持していくことで、維持管理・更新費用の抑制と平準化を目指します。

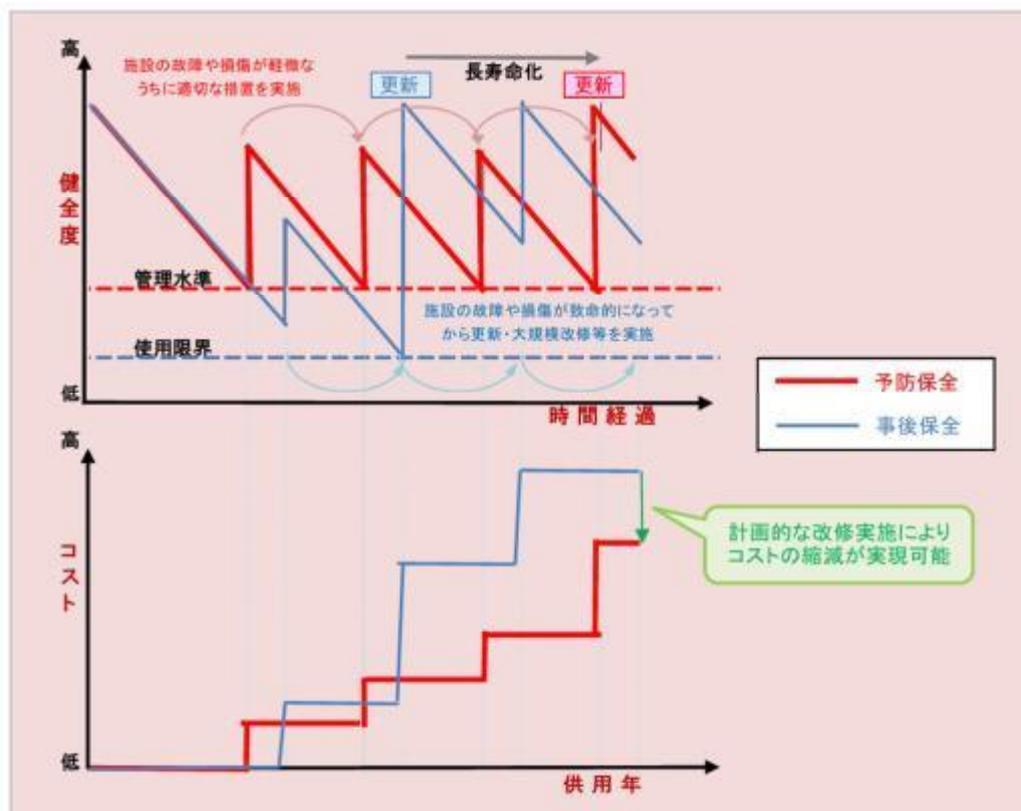


図 5-1 建築物系施設の長寿命化とライフサイクルコストの削減(イメージ)

・ユニバーサルデザイン化の方針

➤ 建築物系公共施設

長寿命化への改修にあたっては、「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(通称「バリアフリー法」)に基づく、公共施設等のバリアフリー化に取り組むとともに、年齢や性別、障がいの有無、国籍などの違いに関わらず、誰もが使いやすい設計として、ユニバーサルデザインの考え方に配慮します。

ユニバーサルデザイン化の推進に当たっては、平成 29(2017)年 2 月に関係閣僚会議決定された「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」におけるユニバーサルデザインの街づくりの考え方を踏まえ、すべての人が利用しやすい施設づくりに努めます。

なお、ユニバーサルデザイン化の実施については、原則、施設等の更新時に加え、長寿命化に係る改修や、大規模改修などに合わせて、バリアフリー、ユニバーサルデザインを導入することとしますが、利用者からのニーズや、影響する範囲なども総合的に勘案し、効果的と見込まれる場合は、単独による改修を検討し、速やかな対応に努めます。

・施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

➤ スポーツ・レクリエーション施設

① 現状と課題

スポーツ・レクリエーション系施設の現状と課題は次表のとおりです。

視 点	現状と課題
ストック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館などのスポーツ施設については、比較的新しい施設が整備されている状況にありますが、氏家体育館、喜連川体育館、穂積体育館、喜連川高校跡地体育館など建築後 40 年以上が経過した施設が存在しています。また、平成 27(2015)年にさくらスタジアムが完成し、生涯スポーツの拠点となることが期待されています。</li> <li>・ 氏家体育館は旧耐震基準に基づく建築物ですが、耐震改修が行われています。</li> <li>・ 喜連川体育館、穂積体育館、喜連川高校跡地体育館の 3 施設は旧耐震基準に基づく建築物となっており、穂積体育館、喜連川高校跡地体育館は耐震診断が未実施、喜連川体育館は耐震診断の結果、耐震性がなく耐震改修も未実施となっています。</li> <li>・ その他のスポーツ施設では、喜連川 B &amp; G 海洋センター、総合公園プール管理棟が建築後 30 年以上であり、施設の広範囲に劣化が見られます。喜連川弓道場は建築後 22 年で、体育館に比べ経過年数が浅いですが、構造部の劣化が進行しています。</li> <li>・ レクリエーション系施設・観光施設については、さくら市女性アグリセンターが建築後 42 年経過し旧耐震基準となっていますが、耐震診断は未実施です。</li> <li>・ 街の駅本陣は建築後 52 年が経過していますが、平成 15(2003)年のリニューアル工事により、経過年数に比べて劣化はそれほど進んでいません。和い話し広場は、建築後 109 年が経過し各棟とも劣化が進んでいます。さらに、耐震性も不明となっています。</li> <li>・ 他の施設については、一部の施設で劣化が見られますが新耐震基準の建築物となっています。</li> <li>・ 旧耐震基準に基づく建築物で、耐震性のないものについては、耐震性の確保が課題となっています。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ施設については、河戸体育館、喜連川弓道場、さくらスタジアムが平成 27(2015)年度から令和元(2019)年度にかけて、130%以上の大幅な増加率が見られます。喜連川体育館は市民利用が多く、ここ数年の年間延べ利用者数は 2.5 万人で推移しており非常に高い稼働率となっています。</li> <li>・ 他の体育館の利用者数は、喜連川高校跡地体育館、穂積体育館が増加傾向に対し、鷺宿体育館、金鹿体育館、氏家体育館は減少となっています。</li> <li>・ スポーツ施設については、喜連川高校跡地体育館の再整備に伴う喜連川地区全体の体育施設の再配置を可能にする設備が求められています。</li> </ul>
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ施設については、直営で管理しており、管理運営コストの低減を図る観点から、民間資本とノウハウの導入について検討が必要と考えられます。</li> </ul>

② 今後の方針

- 耐震性能に不安を抱える施設については、早急に耐震診断・改修を実施する必要があります。
- スポーツ施設については、喜連川高校跡地内の既存施設を含め、喜連川地区全体の体育施設の集約化・統合等を総合的に検討し、それらに対応できる施設・機能を整備していきます。
- 多くの市民がスポーツ施設を利用できるように、各体育施設の年間利用者数の向上を図っていきます（令和7年度目標値 360千人）。
- 既存のスポーツ施設、温泉施設、医療福祉施設を複合化や連携強化することにより、相互の相乗効果を高め、地域活性化を図っていきます。
- 今後も維持管理が必要な施設については、予防保全による長寿命化を推進し、終焉コストの縮減に努めつつ、指定管理者制度などの更なる促進や、設備における省エネ技術の導入、新たな運営財源の確保により管理・運営コストの縮減を図ります。
- 施設利用の実態に応じて他施設への機能移転など、統廃合による施設総量の適正化を検討します。

③ 統合や廃止の推進方針

スポーツ施設の統合や廃止については、人口動向、財政状況、社会状況、市民ニーズの変化、既存施設の稼働状況などを踏まえ、施設サービスのあり方から検討する必要があり、様々な再編手法を検討します。

方法	内容	イメージ
集約化	ニーズや利用状況等を踏まえ、同一用途の複数施設をより少ない施設規模や数に集約	
複合化	施設の利用状況や需要見通しを踏まえ、余剰・余裕スペースについて、周辺の異種用途施設と複合	
民間施設の活用	施設規模や設備、運営形態を踏まえ、周辺の民間施設を活用	
類似機能の統合	設置目的は異なるものの、機能が似通っている複数施設について統合	
実施主体や管理運営主体の変更	施設規模や運営形態等を踏まえ、事業の実施主体や管理運営主体を民間等へ変更	

図 5-2 建築物系施設の主な施設再編手法(イメージ)

## ■ さくら市スポーツ施設ストック最適化指針

スポーツ施設の現状や人口の減少、少子高齢化などの社会情勢の変化に鑑み、また、持続可能な地域社会形成に向けたスポーツ施策の有用性も踏まえ、本市のスポーツ施策の目指すべき姿やその最適化について基本的な考え方を示しています。

### 《指針》

スポーツ基本法の理念に則り、市民がスポーツに親しむための環境の提供に努めるとともに、スポーツ施設を使用しない市民も含めた市民全体にとって、最適な投資となるよう、次の指針に基づきストックの最適化を進めます。

#### ①安全なスポーツ施設の継続的な提供

市が保有する施設について計画的な保全を行うことにより、継続的に市民が安心してスポーツに親しむことができる環境を提供します。

#### ②利用状況等を踏まえた集約化等の実施

利用状況における同種の施設との集約化や廃止などにより総量コントロールを行うほか、利用者の少ない施設等については、その要因を分析したうえで、利用しやすい環境の整備を行います。

#### ③スポーツ施設としての最適な規模・設備と多様性に富んだ施設整備

施設整備に当たっては、市民負担の増大を招かないよう、スポーツ施設としての利用目的と必要な機能を精査し、最適な施設規模・設備による整備を行います。

#### ④利便性の向上や地域コミュニティの再生・創造

施設の集約・再整備時には、複合的な機能の充実など、利用者の利便性を高め、また、地域住民の憩いの場や交流の場として地域コミュニティの再生・創造を図ります。

#### ⑤財源確保

維持管理コストの大きな施設については、運営方法の見直し等により維持管理コストの縮減を図るほか、ネーミングライツ・企業広告の導入など、施設を継続的に維持していくために必要な財源の確保に努めます。

### 5.1.2 人口等の推移

スポーツ施設ストック最適化方針の策定にあたり、人口及び人口構成の推移を見極める必要があります。そこで都市計画(マスタープラン)の人口等の想定を参考にしました。

#### ■ 将来人口の想定

[総人口の目標値:令和 11(2029)年 43,600 人]

- 本市の将来人口(総人口)は、中長期的な人口の将来展望を示す「さくら市総合計画基本構想」に準拠し、令和 11 年(2029 年)の人口を 43,600 人とします。(※目標とする将来人口は、「さくら市総合計画基本構想」の将来展望に基づき、令和 7(2025)年から令和 12(2030)年の総人口が均等に推移するものと仮定して算出しています。)

《図 5-3 さくら市の想定する将来人口の推移》

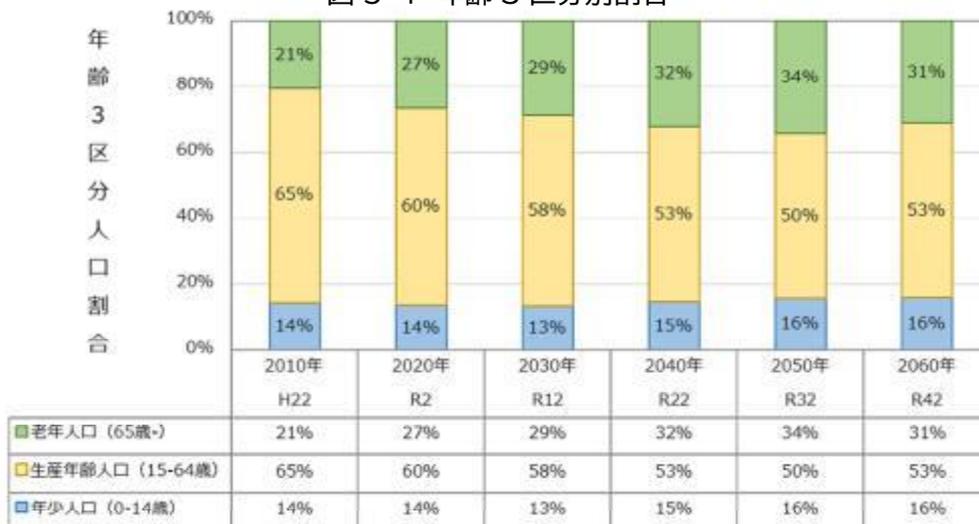


注) 社人研：国立社会保障・人口問題研究所

出典) さくら市総合計画基本構想

- 総人口に占める年齢 3 区分別人口の割合をみると、年少人口(15 歳未満)は将来的には緩やかな増加傾向、生産年齢人口(15 歳以上 65 歳未満)は減少傾向、老年人口(65 歳以上)は増加が進むなか令和 32 年以降は減少傾向に転じる予測となっています。

図 5-4 年齢 3 区分別割合



■ 地区別人口の推移と増減率

平成 28 年(2010)年から令和 42 年(2060)年までの人口減少率は、旧上江川地区が 28.3%と最も大きく、次いで旧喜連川地区が 21.4%となっており、旧喜連川町に該当する地区の人口減少が最も顕著になる予測になっています。

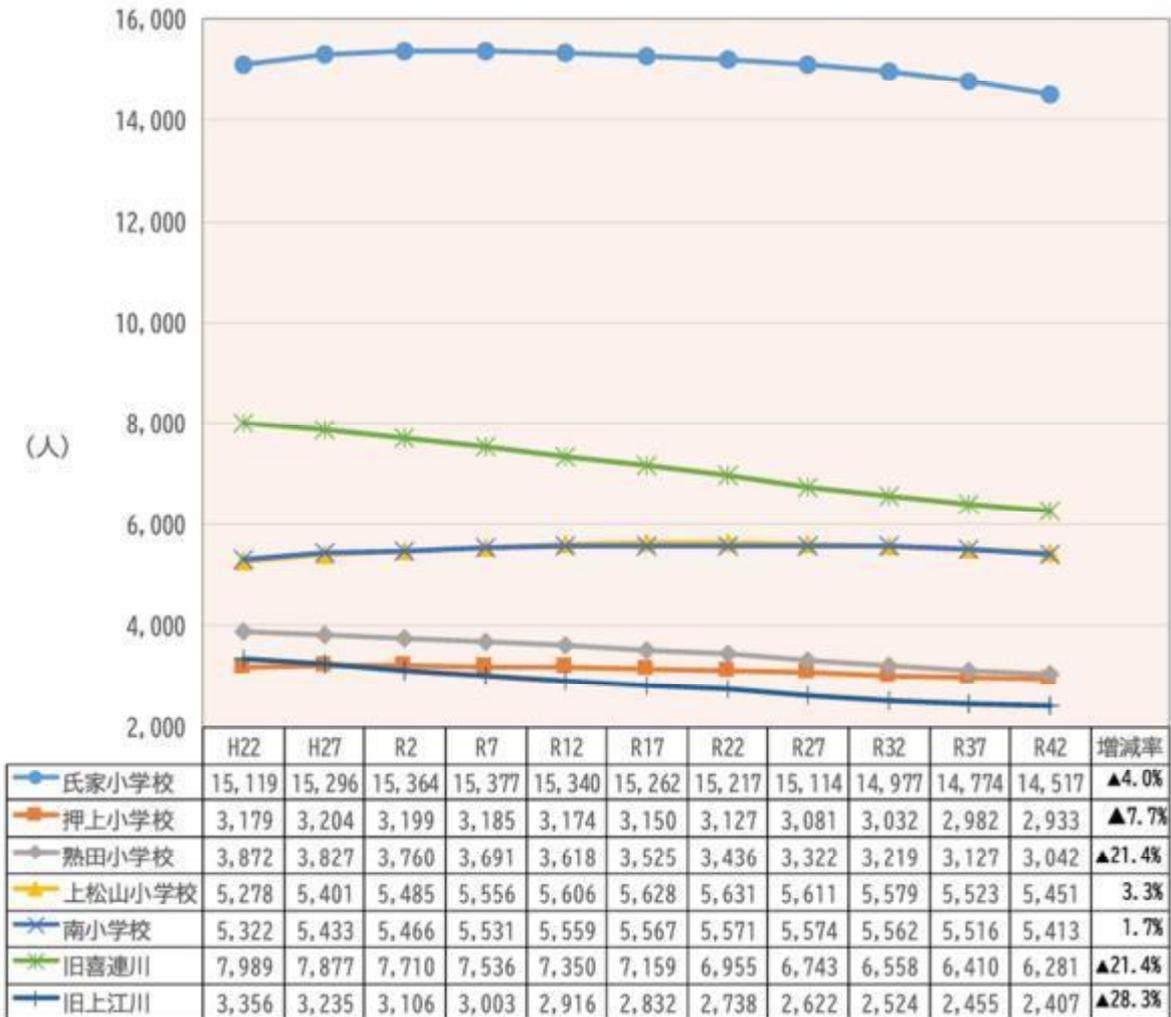


図 5-5 市内 7 地区別人口の推移と増減率

■ スポーツ・レクリエーション系施設

① 配置状況

スポーツ・レクリエーション系施設のうち、スポーツ施設の配置状況を図 5-3 に示します。

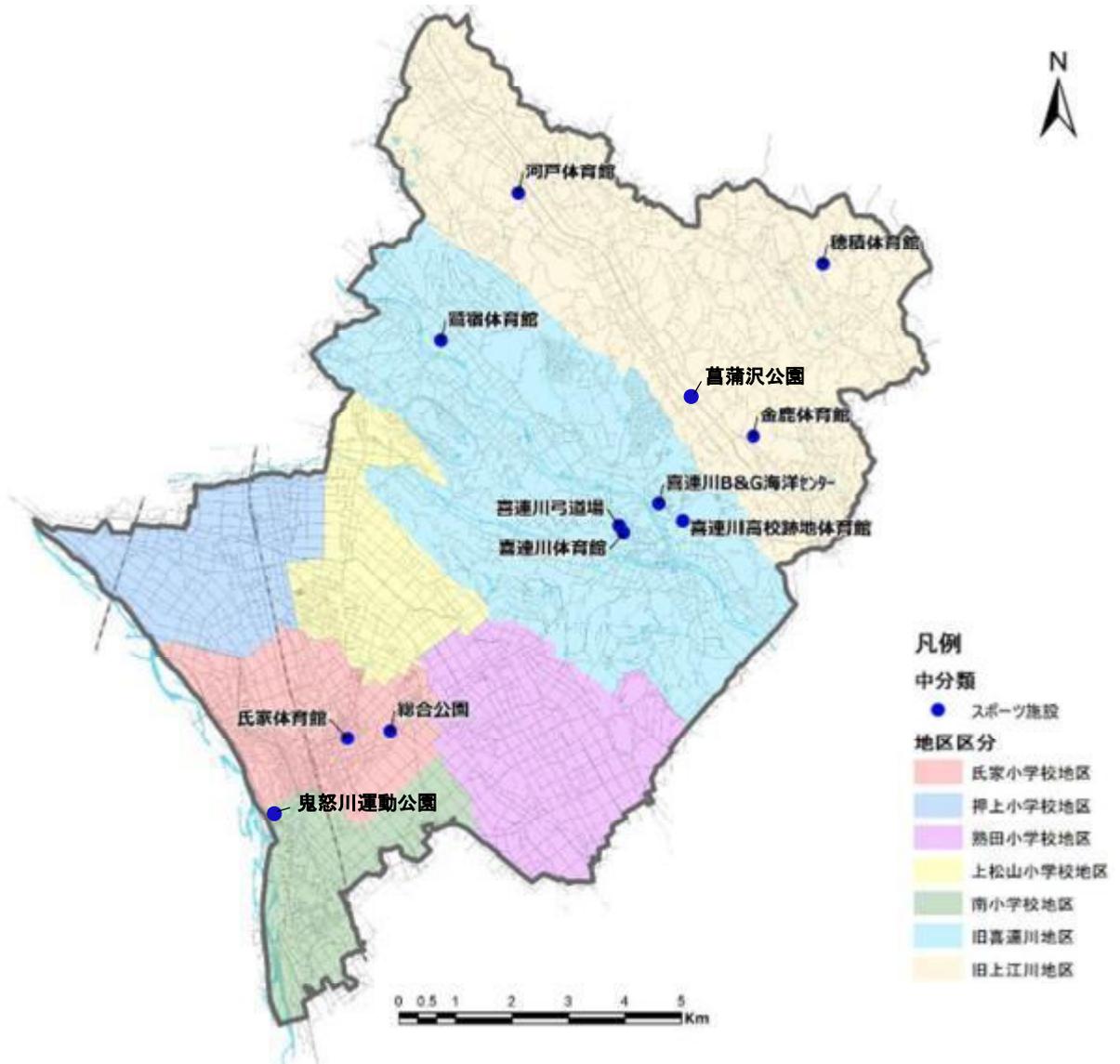


図 5-6 スポーツ施設の配置状況

### 5.1.3 各施設の利用者数

令和元年～令和5年までの各施設の利用者数は下表のとおりです。

		区分	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	合計
屋内施設	氏家体育館	アリーナ	37,952	18,674	20,843	25,425	36,728	139,622
		格技場	16,430	9,558	9,865	13,206	12,986	62,045
		2階卓球場	5,083	1,715	1,750	1,993	2,260	12,801
		会議室	886	0	0	0	0	886
		トレーニング室	8,946	0	3,434	5,799	7,220	25,399
	小計		69,297	29,947	35,892	46,423	59,194	240,753
	喜連川体育館	アリーナ	16,056	8,069	8,236	11,832	15,951	60,144
		格技場	7,190	3,338	4,444	6,967	6,562	28,501
		トレーニング室	639	0	6	63	53	761
	小計		23,885	11,407	12,686	18,862	22,566	89,406
	旧学校体育館	鷺宿体育館	3,256	1,458	2,038	3,003	2,577	12,332
		河戸体育館	1,066	58	375	270	476	2,245
		金鹿体育館	2,745	72	337	743	786	4,683
		穂積体育館	762	20	0	0	0	782
		喜連川高校跡地体育館	7,543	4,132	4,388	6,183	8,112	30,358
	喜連川B&G海洋センター		11,197	1,477	5,626	6,259	9,029	33,588
	小計		26,569	7,217	12,764	16,458	20,980	83,988
	喜連川弓道場		2,230	902	1,086	1,387	1,358	6,963
	計		121,981	49,473	62,428	83,130	104,098	421,110
平均	9施設	13,553	5,497	6,936	9,237	11,566	46,790	
屋外施設	鬼怒川運動公園	サッカー	7,077	4,242	4,813	7,867	9,506	33,505
		グラウンドゴルフ	1,316	1,238	259	1,210	1,330	5,353
	小計		8,393	5,480	5,072	9,077	10,836	38,858
	総合公園	野球場	9,898	6,024	8,700	9,705	12,056	46,383
		テニスコート	9,559	5,983	5,937	11,804	13,891	47,174
		ゲートボール場	2,016	1,485	2,051	2,612	1,989	10,153
		バスケットゴール	0	0	628	643	45	1,316
		プール	20,554	0	0	0	0	20,554
	小計		42,027	13,492	17,316	24,764	27,981	125,580
	さくらスタジアム		27,509	10,133	11,341	15,314	21,141	85,438
	喜連川運動場	運動場	7,026	3,704	5,164	6,650	7,494	30,038
		テニスコート	1,289	1,097	983	1,189	2,197	6,755
	小計		8,315	4,801	6,147	7,839	9,691	36,793
	菖蒲沢公園	多目的広場（野球場）	8,282	2,501	3,440	3,671	6,254	24,148
		テニスコート	268	218	351	234	219	1,290
	小計		8,550	2,719	3,791	3,905	6,473	25,438
	喜連川高校跡地	第1グラウンド（野球場）	5,041	2,541	1,746	3,717	4,286	17,331
		SGF(第2グラウンド)	21,860	9,288	14,378	27,051	29,303	101,880
	小計		26,901	11,829	16,124	30,768	33,589	119,211
兔田河原グラウンドゴルフ場		-	-	-	-	-	-	
計		121,695	48,454	59,791	91,667	109,711	431,318	
平均	13施設	9,361	3,727	4,599	7,051	8,439	33,178	

### 5.1.4 各施設の利用人数及び使用料

令和元年～令和5年までの各施設の利用者数及び使用料は下表のとおりです。

施設名		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
氏家体育館	利用人数	69,297	29,947	35,892	46,423	59,194
	使用料	2,217,625	745,425	1,062,025	802,350	1,998,525
喜連川体育館	利用人数	23,885	11,407	12,686	18,862	22,566
	使用料	624,500	225,250	286,650	344,100	886,650
鷺宿体育館	利用人数	3,256	1,458	2,038	3,003	2,577
	使用料	157,600	77,000	109,200	86,600	168,400
河戸体育館	利用人数	1,066	58	375	270	476
	使用料	10,200	1,600	21,400	12,400	20,800
金鹿体育館	利用人数	2,745	72	337	743	786
	使用料	44,800	16,400	14,000	18,400	30,000
穂積体育館	利用人数	762	20	0	0	0
	使用料	14,400	800	0	0	0
喜連川B&G海洋センター	利用人数	11,197	1,477	5,626	6,259	9,029
	使用料	1,215,000	326,800	783,400	788,400	1,001,400
喜連川弓道場	利用人数	2,230	902	1,086	1,387	1,358
	使用料	31,050	6,100	15,600	9,600	36,700
鬼怒川運動公園	利用人数	8,393	5,480	5,072	9,077	10,836
	使用料	502,000	212,000	358,750	531,750	1,086,750
総合公園 野球場	利用人数	9,898	6,024	8,700	9,705	12,056
	使用料	543,500	307,500	437,500	365,500	527,000
総合公園 テニスコート	利用人数	9,559	5,983	5,937	11,804	13,891
	使用料	1,620,000	840,400	898,800	1,016,100	1,982,300
総合公園 ゲートボール場	利用人数	2,016	1,485	2,051	2,612	1,989
	使用料					
総合公園 バスケットコート	利用人数	0	0	628	643	45
	使用料	0	6,000	0	0	0
総合公園 プール	利用人数	20,554	0	0	0	0
	使用料	6,410,620	0	0	0	0
さくらスタジアム	利用人数	27,509	10,133	11,341	15,314	21,141
	使用料	440,350	364,600	246,000	424,600	1,029,400
喜連川運動場	利用人数	7,026	3,704	5,164	6,650	7,494
	使用料	120,250	45,600	87,250	46,250	106,150
喜連川運動場 テニスコート	利用人数	1,289	1,097	983	1,189	2,197
	使用料	74,700	51,600	40,800	40,500	51,600
菖蒲沢公園 多目的広場	利用人数	8,282	2,501	3,440	3,671	6,254
	使用料	124,800	77,200	109,400	146,700	172,050
菖蒲沢公園 テニスコート	利用人数	268	218	351	234	219
	使用料	38,700	35,200	57,600	34,500	41,100
喜連川高校跡地 体育館	利用人数	7,543	4,132	4,388	6,183	8,112
	使用料	367,800	212,100	226,000	157,800	235,700
喜連川高校跡地 第1グラウンド(野球場)	利用人数	5,041	2,541	1,746	3,717	4,286
	使用料	167,650	107,200	65,650	54,150	58,550
喜連川高校跡地 SGF(第2グラウンド)	利用人数	21,860	9,288	14,378	27,051	29,303
	使用料	1,483,950	747,150	1,175,950	1,200,100	2,539,350
兎田河原グラウンドゴルフ場	利用人数					
	使用料					

### 5.1.5 令和4年度施設稼働率

各施設の稼働率は下表のとおりです。

施設	区分	稼働率				稼働率評価				利用可能回数				利用回数				年間利用人数	利用1日当たり人数
		午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体		
氏家体育館	アリーナ	91%	78%	93%	87%	336	336	271	943	307	262	252	821	25,425	31				
	格技場	71%	83%	92%	81%	336	336	271	943	239	249	249	767	13,206	17				
	卓球場	75%	50%	40%	56%	336	336	271	943	253	167	109	529	1,993	4				
	アリーナ	72%	91%	73%	79%	336	336	271	943	241	306	198	745	11,832	16				
喜連川体育館	格技場	65%	71%	57%	65%	336	336	336	1038	89	44	208	341	6,967	11				
	体育館	26%	13%	62%	33%	336	336	336	1038	89	60	67	216	6,183	18				
喜連川高校跡地	第1グラウンド	26%	18%	20%	21%	336	336	336	1038	131	120	234	485	3,717	17				
	野球場	39%	36%	70%	48%	336	336	336	1038	117	116	118	351	9,705	28				
SAKURAグリーンフィールド	総合公園	71%	74%	72%	72%	336	336	336	1038	237	249	242	728	11,804	16				
	テニスコート	29%	10%	6%	15%	336	336	336	1038	99	32	20	151	3,671	24				
喜満沢公園	多目的広場	10%	9%	9%	10%	336	336	336	672	34	31	65	234	4					
	テニスコート	23%	5%	33%	20%	336	336	336	1038	76	17	112	205	6,650	32				
喜連川運動場	サッカー場	26%	23%	23%	24%	336	336	336	672	88	76	164	1,189	7					
	テニスコート	35%	48%	42%	42%	198	214	412	412	70	102	172	8,082	47					
さくらスタジアム(陸上・サッカー)	喜連川弓道場	26%	14%	28%	22%	336	336	271	943	88	47	77	212	15,314	72				
	喜連川小学校	37%	24%	4%	22%	336	336	336	1038	125	82	13	220	1,387	6				
氏家小学校	熱田小学校	45%	0%	70%	52%	93	93	302	488	42	0	212	254	11,780	46				
	押上小学校	17%	0%	59%	47%	107	107	345	559	58	1	204	263	7,667	29				
熱田小学校	上松山小学校	87%	73%	37%	72%	111	111	51	273	97	81	19	197	2,829	14				
	南小学校	100%	37%	35%	48%	108	108	338	554	108	40	119	267	7,747	29				
喜連川小学校	第1体育館	38%	3%	53%	41%	102	102	329	533	39	3	174	216	8,782	41				
	第2体育館	35%	3%	0%	8%	106	106	309	521	37	3	0	40	899	22				
氏家中学校	第1体育館	37%	37%	37%	37%	338	338	338	1,038	125	125	235	2,355	19					
	第2体育館	62%	62%	62%	62%	329	329	329	987	205	205	205	4,494	22					
喜連川中学校(11月～)	ナイター	17%	17%	17%	17%	338	338	338	1,038	57	57	57	2,812	49					
	体育館	3%	3%	3%	3%	119	119	119	357	4	4	4	40	10					
鷲宿体育館	河戸体育館	19%	6%	41%	22%	336	336	336	1038	63	20	139	222	3,003	14				
	金鹿体育館	0%	0%	4%	1%	336	336	336	1038	0	0	12	12	270	23				
穂積体育館 ※体館中のためH30年度	B&G海洋センター	14%	0%	14%	9%	336	336	336	1038	46	0	47	93	743	8				
	プール	2%	3%	10%	5%	336	336	365	1095	7	11	38	56	612	11				
稼働率	利用可能回数	94%	99%	70%	87%	110	16	160	480	150	158	112	420	6,259	15				

稼働率  
利用回数÷利用可能回数

利用可能回数  
365日-休館日(第1・第3月曜日と年末年始 計29日)=336日

各施設  
氏家・喜連川体育館・Sスタ夜間  
小中学校  
鬼怒川運動公園(午前)  
鬼怒川運動公園(午後)

365日-休館日(上記)-日曜日(65日)=271日  
各学校の開放日  
鬼怒川運動公園(1月～5月)=198日  
鬼怒川運動公園(1月～5月)+多目的広場利用日=214日

利用回数(午前の時間に利用があれば1カウント)  
午前9:00～12:00  
午後12:00～17:00  
夜間17:00～21:00

※9月:00～17:00の利用は午前・午後でそれぞれカウント

稼働率評価  
稼働率が8割を以上  
稼働率が5割以上8割未満  
稼働率が3割以上5割未満  
稼働率が3割未満

A

B

C

D

## 5.2 政策優先度評価

政策優先評価をするにあたり、下表により評価を行いました。

- ① 施設利用者の「多い」、「少ない」の評価は、5.1.3 各施設の利用者数から令和5年度の各施設の利用者数を屋内体育施設、屋外体育施設それぞれの平均利用者数で割った数値で1.0以上を「多い」、1.0以下を「少ない」と評価
- ② 施設の稼働率は5.1.5 令和4年度施設稼働率に基づき評価
- ③ 利用者満足度は、6. アンケート調査結果で「満足している」、「やや満足している」の合計割合が7割以上を高いと評価
- ④ 圏域のスポーツ施設については、1.3.2 都市計画マスタープランの地域区分を採用し評価
- ⑤ 地域防災計画は、1.3.2 都市計画マスタープランの都市防災の方針を採用し評価

施設名

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	
施設稼働率	高い		低い	
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	
整備目的と利用実態	合致		合致していない	
代替施設	ない		ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価				

施設名 氏家体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 59194/11566=5.12	○	少ない	
施設稼働率	高い	○	低い	
利用者満足度	高い		低い	○
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い	—	低い	—
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設	○	指定なし	
総合評価		○		

施設名 喜連川体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 22566/11566=1.95	○	少ない	
施設稼働率	高い	○	低い	
利用者満足度	高い		低い	○
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い	—	低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	土砂災害 警戒区域内
総合評価				○

施設名 喜連川弓道場

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>1358/11566=0.12</small>	○
施設稼働率	高い		低い	—
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い	—	低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価				○

施設名 鷺宿体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い <small>2577/11566=0.22</small>		少ない <small>0.22</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設	○	指定なし	
総合評価				○

施設名 河戸体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>1689/11566=0.15</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設	○	指定なし	
総合評価				○

施設名 金鹿体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>1133/11566=0.10</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設	○	指定なし	
総合評価				○

施設名 穂積体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価				○

施設名 喜連川高校跡地 体育館

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない 8112/11566=0.70	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価		○		

施設名 喜連川B&G海洋センター

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない 9029/11566=0.78	○
施設稼働率	高い	○	低い	
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価		○		

施設名 喜連川運動場 サッカー場

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない 7494/8439=0.89	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価				○

施設名 喜連川運動場 テニスコート

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>2197/8439=0.26</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない		ある	○
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価				○

施設名 喜連川高校跡地 第1グラウンド

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>4286/8439=0.51</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 SAKURグリーンフィールド

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 29303/8439=3.5	○	少ない	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 鬼怒川運動公園 サッカー場

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 10836/8439=1.3	○	少ない	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	—
圏域のスポーツ施設	ない		ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 鬼怒川運動公園 グラウンドゴルフ場

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 10836/8439=1.3	○	少ない	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 さくらスタジアム

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 21141/8439=2.5	○	少ない	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	○
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い	—	低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設	○	指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 野球場

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 12056/8439=1.43	○	少ない	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い	○	低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い	—	低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 テニスコート

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い 13891/8439=1.6	○	少ない	
施設稼働率	高い	○	低い	
利用者満足度	高い	—	低い	○
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 プール

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価				○

施設名 総合公園 バスケットボールコート

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い	—	低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 スポーツウォール

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	
施設稼働率	高い		低い	
利用者満足度	高い	—	低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 総合公園 ゲートボール場

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	
施設稼働率	高い		低い	
利用者満足度	高い	—	低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 菖蒲沢公園 多目的広場

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>6254/8439=0.74</small>	
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

施設名 菖蒲沢公園 テニスコート

	評価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない <small>219/8439=0.03</small>	○
施設稼働率	高い		低い	○
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い		低い	○
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない		ある	○
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	○
総合評価				○

施設名 兎田河原グラウンドゴルフ場

	評 価			
	高い		低い	
施設利用者(当施設/平均値)	多い		少ない	
施設稼働率	高い		低い	
利用者満足度	高い		低い	
利用者増進の見込み	高い	○	低い	
障がい者スポーツの利用	多い		低い	
圏域のスポーツ施設	ない	○	ある	
整備目的と利用実態	合致	○	合致していない	
代替施設	ない	○	ある	
地域防災計画	災害施設 避難施設		指定なし	
総合評価		○		

## 6. スポーツ施設の基本方針に関する検討

### 6.1 スポーツ施設の基本方針に関する検討(2次評価)

5.1.1～5.1.5 で収集した情報をもとにスポーツ環境を評価します。施設の方向性(1次評価)にスポーツ環境の評価結果を加えて基本方針を検討します。

(基本方針の概要)

- ・ スポーツ環境に関する情報に基づき、施設ごとに基本方針を定めます。

表 6-1 基本方針の概要

基本方針	内容
(スポーツ施設としての)機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては建替再整備の時期や方法について検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。
施設不足の解消	スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。

(基本方針の検討の流れ)

- ・ 「施設の方向 (1次評価結果)」に、政策優先度を加味して、基本方針を検討する流れは図 6-1 のとおりです。

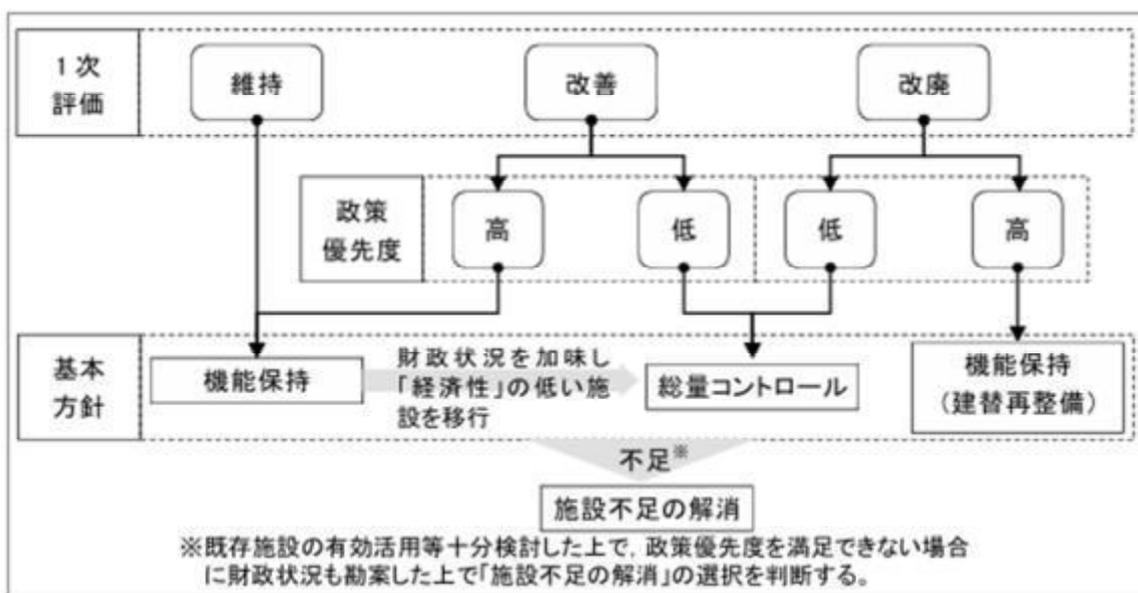


図 6-1 スポーツ施設の基本方針の検討(2次評価)のフロー

## 6.1.1 2次評価一覧表

### (1) 屋内施設

施設名称	区分	1次評価				2次評価	
		安全性 機能性	経済性	耐震性	施設の 方向性	政策 優先度	基本方針
氏家体育館	建築物	良	良	有	維持	高い	機能保持
喜連川体育館	建築物	劣	良	無	改善	低い	総量コントロール
喜連川弓道場	建築物	劣	劣	有	改廃	低い	総量コントロール
鷺宿体育館	建築物	劣	劣	有	改廃	低い	総量コントロール
河戸体育館	建築物	劣	劣	無	改廃	低い	総量コントロール
金鹿体育館	建築物	劣	劣	有	改廃	低い	総量コントロール
穂積体育館	建築物	劣	劣	無	改廃	低い	総量コントロール
喜連川高校跡地体育館	建築物	良	劣	無	維持	高い	機能保持
喜連川B&G海洋センター	建築物	良	良	有	維持	高い	機能保持

### (2) 屋外施設

施設名称	区分	1次評価				2次評価	
		安全性 機能性	経済性	耐震性	施設の 方向性	政策 優先度	基本方針
喜連川運動場サッカー場	非建築物	劣	劣	—	改廃	低い	総量コントロール
喜連川運動場テニスコート	非建築物	劣	劣	—	改善	低い	総量コントロール
喜連川高校跡地第1グラウンド	非建築物	良	劣	—	維持	高い	機能保持
SAKURAグリーンフィールド	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
鬼怒川運動公園サッカー場	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
総合運動公園さくらスタジアム	建築物 非建築物	良	劣	有	維持	高い	機能保持
総合公園野球場	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
総合公園テニスコート	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
総合公園プール	建築物 非建築物	劣	劣	—	改廃	低い	総量コントロール
総合公園バスケットボール	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
総合公園スポーツウォール	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
総合公園ゲートボール場	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持
菖蒲沢公園多目的広場	非建築物	良	劣	—	維持	高い	機能保持
菖蒲沢公園テニスコート	非建築物	劣	劣	—	改廃	低い	総量コントロール
兔田河原グラウンドゴルフ場	非建築物	良	良	—	維持	高い	機能保持

## 7. スポーツ施設のアンケート調査結果の概要

方針の策定にあたり、スポーツ施設利用者の実情やニーズ等を把握し、基礎資料を得ることを目的にアンケート調査を実施しました。

### 【調査の概要】

名称：体育・スポーツ施設のあり方に関するアンケート

調査対象者：氏家体育館、喜連川体育館、さくらスタジアム利用者

調査期間：令和7年1月10日～令和7年2月10日

調査方法：氏家体育館、喜連川体育館、さくらスタジアムの各施設にて配布・回収

回答者数：氏家体育館 151通

喜連川体育館 105通

さくらスタジアム 46通

### 【調査結果】

問1. あなたが現在行っている運動・スポーツの種目についてお聞かせください。

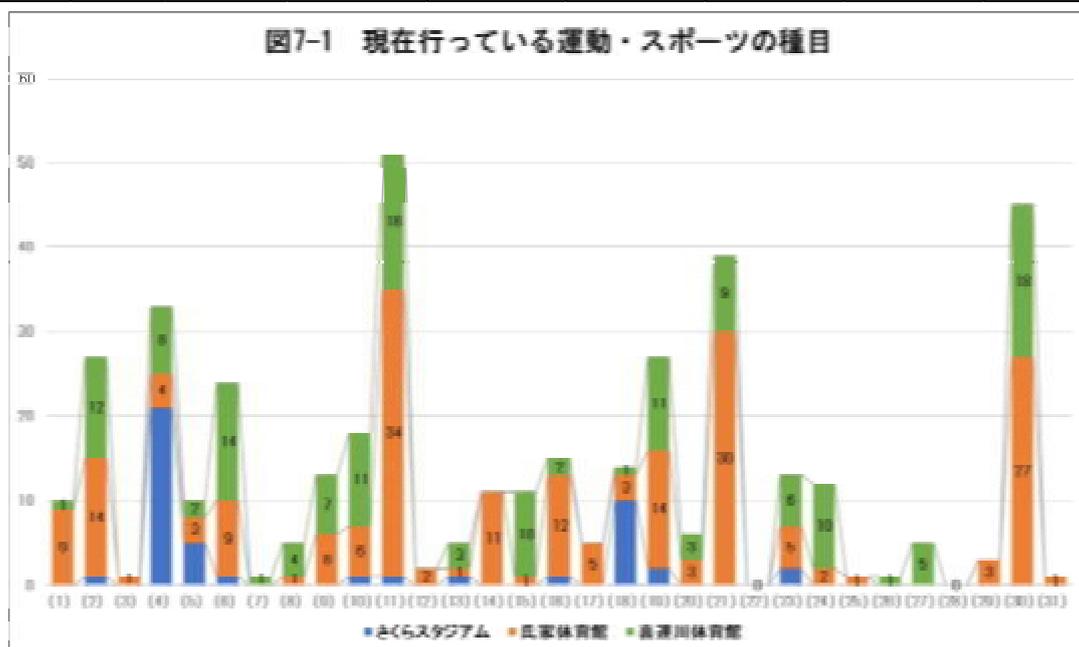
#### ○現在行っている運動・スポーツの種目

氏家体育館では卓球、筋力トレーニング、バレーボール、ウォーキング・ランニング、野球が上位5位を占めました。喜連川体育館では卓球、バドミントン、バレーボール、ウォーキング・ランニング、サッカー、さくらスタジアムではテニス、陸上競技、ソフトテニス、ウォーキング・ランニングが上位を占めました。

全体では、「卓球」が最も多く12.5%、次いで「筋力トレーニング」が9.5%、「テニス」が8.1%、「バレーボール」と「ウォーキング・ランニング」が同率で6.6%、「バドミントン」5.9%、「サッカー」4.4%、「陸上競技」、「グラウンドゴルフ」と続き、手軽に参加できる運動・スポーツが上位を占める傾向にあります。

表 7-1 問 1.現在行っている運動・スポーツの種目

選択項目		さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1)	バスケットボール	0	9	1	10	2.4%
(2)	バレーボール	1	14	12	27	6.6%
(3)	ネオホッケー	0	1	0	1	0.2%
(4)	テニス	21	4	8	33	8.1%
(5)	ソフトテニス	5	3	2	10	2.4%
(6)	バドミントン	1	9	14	24	5.9%
(7)	体操	0	0	1	1	0.2%
(8)	ダンス	0	1	4	5	1.2%
(9)	太極拳	0	6	7	13	3.2%
(10)	サッカー	1	6	11	18	4.4%
(11)	卓球	1	34	16	51	12.5%
(12)	剣道	0	2	0	2	0.5%
(13)	空手	1	1	3	5	1.2%
(14)	柔道	0	11	0	11	2.7%
(15)	弓道	0	1	10	11	2.7%
(16)	野球	1	12	2	15	3.7%
(17)	ソフトボール	0	5	0	5	1.2%
(18)	陸上競技	10	3	1	14	3.4%
(19)	ウォーキング・ランニング	2	14	11	27	6.6%
(20)	水泳	0	3	3	6	1.5%
(21)	筋カトレーニング	0	30	9	39	9.5%
(22)	ゲートボール	0	0	0	0	0.0%
(23)	ゴルフ	2	5	6	13	3.2%
(24)	グラウンドゴルフ	0	2	10	12	2.9%
(25)	フットゴルフ	0	1	0	1	0.2%
(26)	スキー	0	0	1	1	0.2%
(27)	インディアカ	0	0	5	5	1.2%
(28)	レスリング	0	0	0	0	0.0%
(29)	ピククルボール	0	3	0	3	0.7%
(30)	その他	0	27	18	45	11.0%
(31)	無回答	0	1	0	1	0.2%
計		46	208	155	409	100.0%



問2. あなたが現在行っている運動・スポーツの頻度について一つ選んでください。

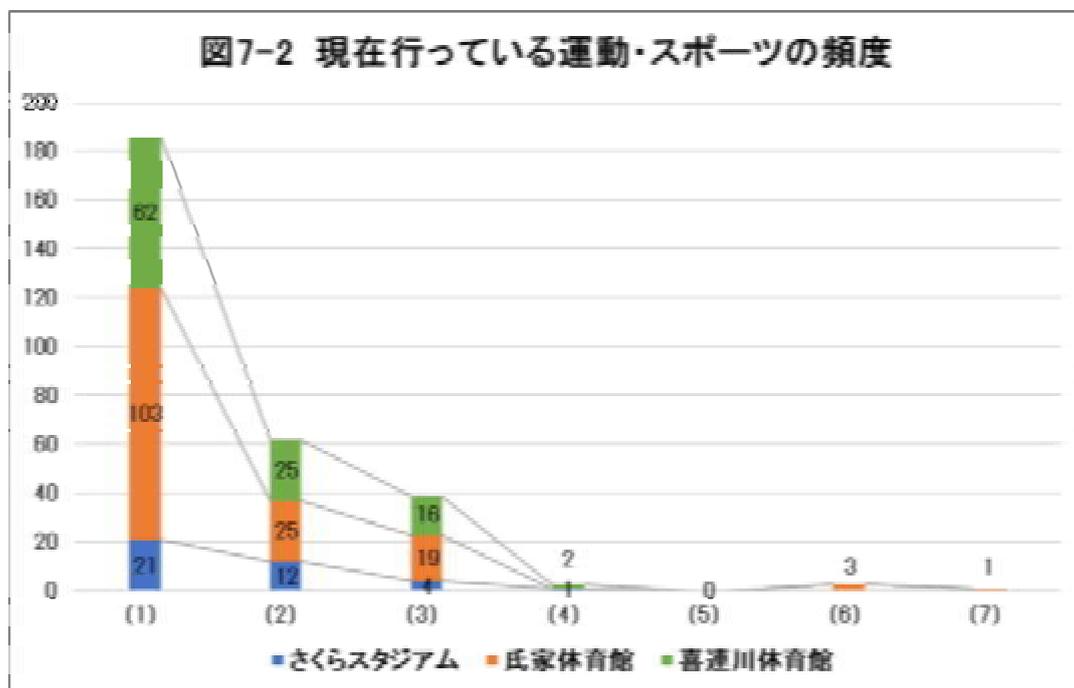
### ○現在行っている運動・スポーツの頻度

さくらスタジアム、氏家体育館、喜連川体育館いずれも「週2日以上」が最も多く、次いで「週に1日以上」となっています。

全体では最も多かったのは「週2日以上」で63.3%を占め、次いで「週に1日」が21.1%、「月に1～3日」が13.3%と多くの市民が運動・スポーツ活動に参加しています。

表7-2 あなたが現在行っている運動・スポーツの頻度

選択項目	さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1) 週2日以上	21	103	62	186	63.3%
(2) 週に1日	12	25	25	62	21.1%
(3) 月に1～3日	4	19	16	39	13.3%
(4) 3ヶ月に1～2日	1	0	2	3	1.0%
(5) 年に1～3日	0	0	0	0	0.0%
(6) 行っていない	0	3	0	3	1.0%
(7) 無回答	0	1	0	1	0.3%
計	38	151	105	294	100.0%



問3. 今後充実させてほしいスポーツ施設は何ですか。一つ選んでください。

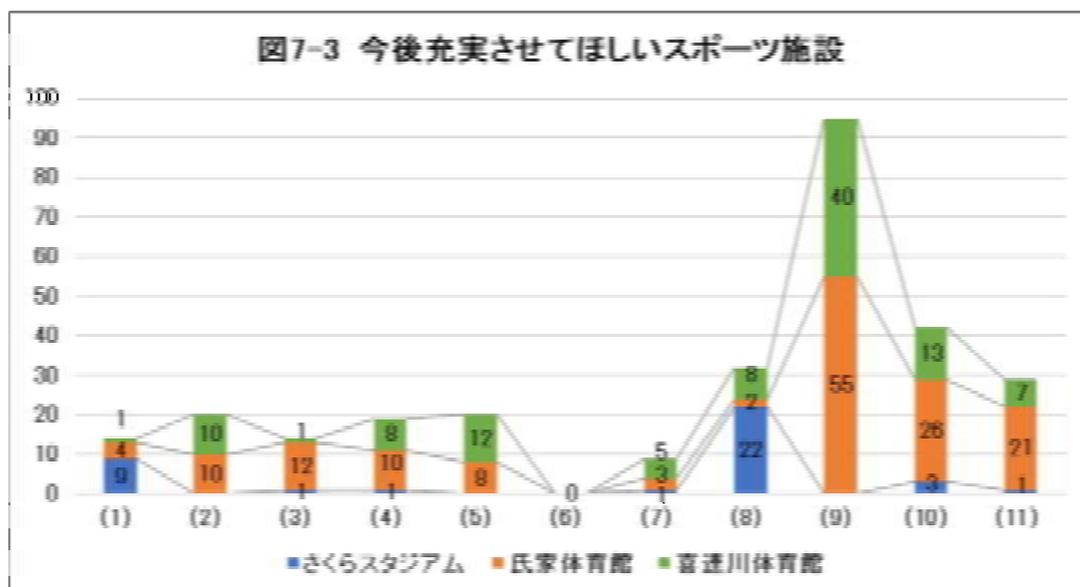
### ○今後充実させてほしいスポーツ施設

さくらスタジアムでは、テニスコートが最も多く、次いで陸上競技場、氏家体育館では、体育館、次いで野球場、喜連川体育館では、体育館、次いで武道場となっています。

全体では最も要望が多かった施設は「体育館」で32.3%を占めました。次いで「テニスコート」が10.9%、「サッカー場」が6.8%、「武道場」が6.8%、「プール」が6.5%と続いています。

表 7-3 今後充実させてほしいスポーツ施設

選択項目		さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1)	陸上競技場	9	4	1	14	4.8%
(2)	サッカー場	0	10	10	20	6.8%
(3)	野球場	1	12	1	14	4.8%
(4)	プール	1	10	8	19	6.5%
(5)	武道場	0	8	12	20	6.8%
(6)	ゲートボール場	0	0	0	0	0.0%
(7)	グラウンド・ゴルフ場	1	3	5	9	3.1%
(8)	テニスコート	22	2	8	32	10.9%
(9)	体育館	0	55	40	95	32.3%
(10)	その他	3	26	13	42	14.3%
(11)	無回答	1	21	7	29	9.9%
計		38	151	105	294	100.0%



## ○スポーツ施設の満足度

問 4-1. 現在行っている運動やスポーツで利用しているさくら市のスポーツ施設（設備、環境）の満足度について、最も近いもの一つに○をつけてください。

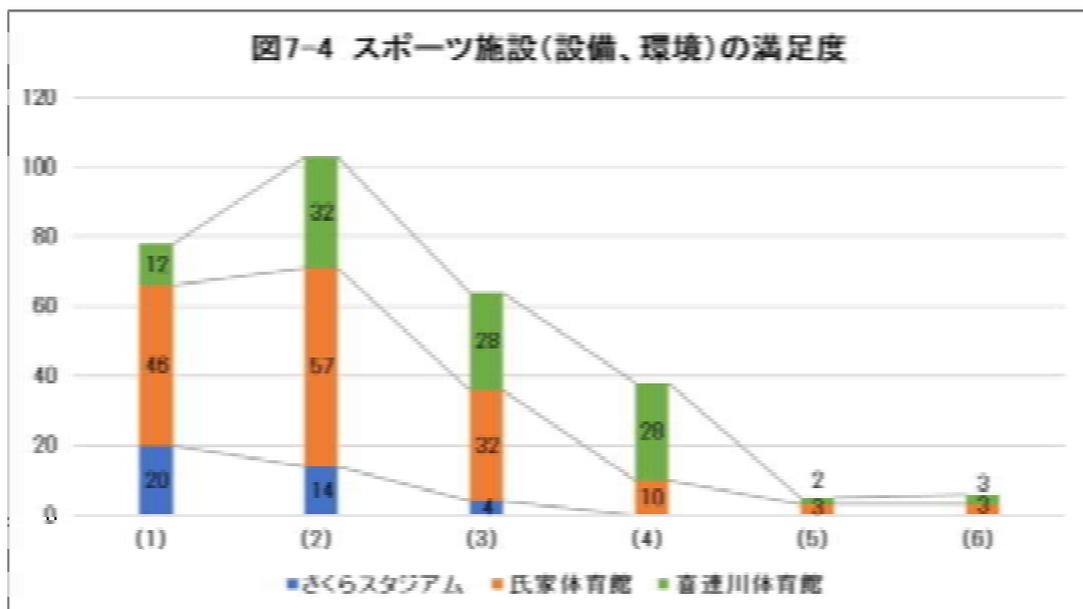
さくらスタジアムは比較的新しい施設のため、「満足している」が52.6%、「やや満足している」が36.8%で計89.4%の人が満足しています。

全体では、「満足している」が26.5%、「やや満足している」が35.0%で計61.5%となっていますが、氏家体育館では、「満足している」が30.5%、「やや満足している」が37.7%で計68.2%と平均値よりも高い傾向にあります。喜連川体育館では、「満足している」が11.4%、「やや満足している」が30.5%、計41.9%で3施設のうち最も低い施設になっています。

施設の老朽化、弓道場の改善、トレーニングルームの設置についての意見・要望が多く出されています。

表 7-4 スポーツ施設(設備、環境)の満足度

選択項目		さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1)	満足している	20	46	12	78	26.5%
(2)	やや満足している	14	57	32	103	35.0%
(3)	やや不満である	4	32	28	64	21.8%
(4)	不満である	0	10	28	38	12.9%
(5)	わからない	0	3	2	5	1.7%
(6)	無回答	0	3	3	6	2.0%
計		38	151	105	294	100.0%



問 4-2. 問 4-1 で選んだ理由を記入してください（自由記述）

**(1) 満足している事項**

- ・回数券などがあり利用しやすい
- ・仲間づくりの場
- ・トレーニングの効果
- ・予約が容易で安い料金
- ・気持ちよくプレーができる
- ・家から近くて利用が容易
- ・自主練習が出来る
- ・今のままで良い

**(2) 不満足な事項**

**①施設について**

- ・筋トレ器具が少ない
- ・部屋が狭い
- ・トイレが汚い
- ・球場のフェンスが危険
- ・施設の老朽化
- ・テニスコートのネットが回りづらい時がある
- ・練習用テニスコート壁が低い
- ・陸上競技場が整備されていない
- ・トラックの劣化
- ・菖蒲沢公園テニスコートの改修
- ・テニスコート照明の増設
- ・弓道場の射場が狭く、昇段審査の練習に支障がある
- ・弓道場が氏家地区から遠く、体育館からも少し離れている
- ・弓道場に控室、更衣室がない
- ・巻糞場がない
- ・矢取り道に屋根がなく、矢道が原野
- ・体育館にバリアフリーがない
- ・危険箇所があり、照明も暗く、トイレが狭い
- ・バレーボールの備品が劣化
- ・体育館が狭い
- ・トレーニングルームがない
- ・サッカーのネットがボロボロ

## ②運営について

- ・受付の対応が著しく遅い時がある
- ・施設予約システムが使いにくい
- ・予約が取れない
- ・市外のチームが使い、市内のチームが使えない

## (3) 要望事項

### ①施設について

- ・お金が戻るロッカーへの切り替え
- ・冷暖房設備の設置
- ・体育館の増設
- ・フリーのベンチプレスの設置
- ・観客席のある野球場の整備
- ・武道場が欲しい
- ・卓球仕切りフェンス、ネット等の更新
- ・控室、更衣室の設置
- ・室内プール
- ・筋トレ器具の増設
- ・トイレの増設
- ・武道場にマット
- ・畳をもう一面増設
- ・菖蒲沢公園テニスコートのひび割れの改修
- ・テニスコートの照明の増設

### ②運営について

- ・高齢者用の運動や体操のスタジオプログラムが欲しい
- ・玄関に高齢者パイプ椅子の設置

問5. 今後、スポーツ施設のサービス維持していくためには、どのように見直すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを、以下の項目より3つまで選んでください。

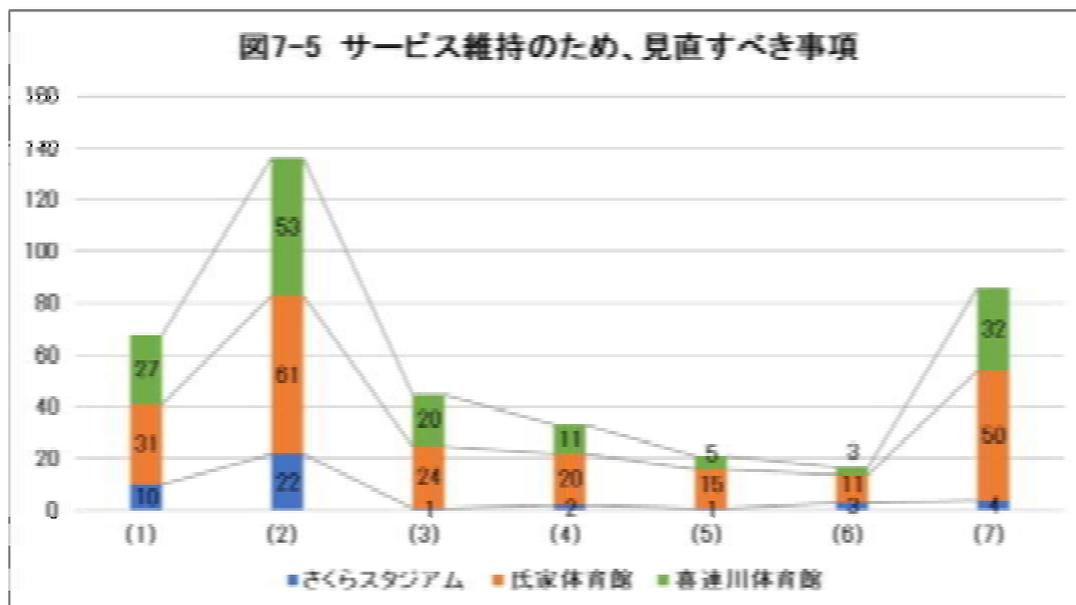
### ○サービス維持のため、見直すべき事項

さくらスタジアムでは、「老朽化が著しく、改修や建替えに大きな費用が必要となる施設」が51.1%を占め、次いで「利用者が少ない施設」が23.2%を占めています。氏家体育館では、「老朽化が著しく、改修や建替えに大きな費用が必要となる施設」が28.8%、次いで「利用者が少ない施設」が14.6%、「他施設よりも、利用者一人あたりの維持にかかる経費が高い施設」が11.3%、喜連川体育館では、「老朽化が著しく、改修や建替えに大きな費用が必要となる施設」が35.1%、次いで「利用者が少ない施設」が17.9%となっています。

全体では、最も多かった回答は「老朽化が著しく、改修や建替えに大きな費用が必要となる施設」で33.5%を占めています。次いで「利用者が少ない施設」が16.7%、「他施設よりも、利用者一人あたりの維持にかかる経費が高い施設」が11.1%、「民間に類似施設がある施設」と続いています。

表7-5 スポーツ施設のサービス維持のため、見直すべき事項

選択項目		さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1)	利用者が少ない施設	10	31	27	68	16.7%
(2)	老朽化が著しく、改修や建替えに大きな費用が必要となる施設	22	61	53	136	33.5%
(3)	他施設よりも、利用者一人あたりの維持にかかる経費が高い施設	1	24	20	45	11.1%
(4)	民間に類似施設がある施設	2	20	11	33	8.1%
(5)	近隣市に類似施設がある施設	1	15	5	21	5.2%
(6)	その他	3	11	3	17	4.2%
(7)	無回答	4	50	32	86	21.2%
計		43	212	151	406	100.0%



問6. スポーツ施設の適正配置を検討する場合に重視すべき視点はこういったところだと思いますか。三つまで選んでください。

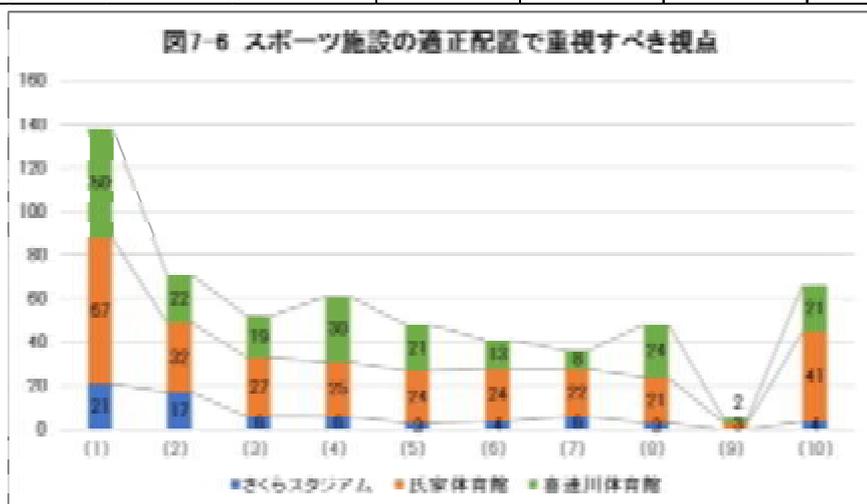
### ○スポーツ施設の適正配置を検討する場合に重視すべき視点

さくらスタジアム、氏家体育館、喜連川体育館で最も多かった回答は、いずれも「十分な駐車場が確保できる場所であること」でした。

全体で最も多かった回答は、「十分な駐車場が確保できる場所」で24.4%を占め、アンケート調査を実施した3施設でいずれも最も多い回答です。次いで「運動公園のように多くの種目で利用できる施設を配置すること」が12.5%、「大きな大会が開催できるよう、同一種目で広い面積を利用できる施設を配置すること」が9.2%、「旧町のバランスに配慮して、施設を配置すること」が8.5%、「市内全域からの所要時間にあまり格差が生じない場所に配置すること」、「施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること」がそれぞれ8.5%となっています。

表 7-6 スポーツ施設の適正配置で重視すべき視点

選択項目	さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1) 十分な駐車場が確保できる場所であること	21	67	50	138	24.4%
(2) 運動公園のように多くの種目で利用できる施設を配置すること	17	32	22	71	12.5%
(3) 大きな大会等も開催しやすくするため、同一種目で広い面積を利用できる施設を配置すること	6	27	19	52	9.2%
(4) 旧町のバランスに配慮して、施設を配置すること	6	25	30	61	10.8%
(5) 市内全域からの所要時間にあまり格差が生じない場所に配置すること	3	24	21	48	8.5%
(6) 公共交通機関の利便性が高い場所に配置すること	4	24	13	41	7.2%
(7) 夜間照明や音響によって近隣住民に負担をかけることが少ない場所に配置すること	6	22	8	36	6.4%
(8) 施設の集中によって、施設の維持管理にかかる人件費などの経費削減を図ること	3	21	24	48	8.5%
(9) その他	0	3	2	5	0.9%
(10) 無回答	4	41	21	66	11.7%
計	70	286	210	566	100.0%



問7. 今後、どのような施設を優先的に維持、整備していくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを、以下の項目より三つまで選んでください。

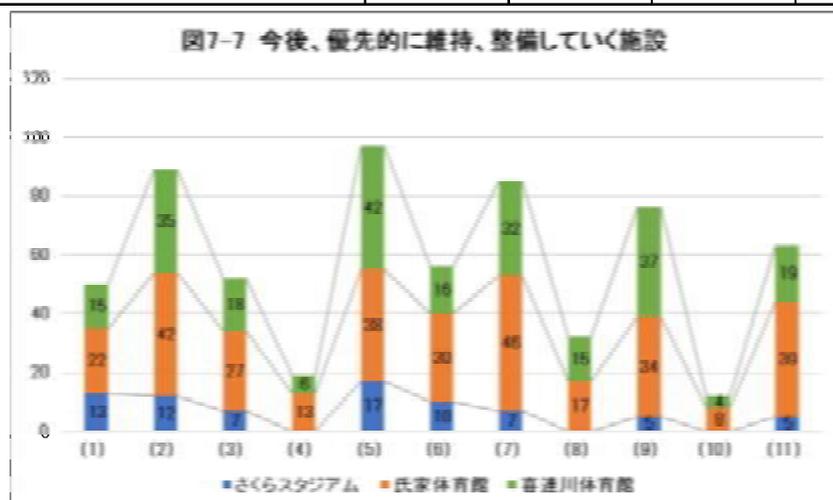
### ○今後、優先的に維持・整備していく施設

さくらスタジアムで最も多かった回答は、「天候に左右されずに利用できる施設」が22.3%、次いで「競技人口が多い種目のための施設」が17.1%、氏家体育館で最も多かった回答は、「特定種目に限定されない、より幅広い市民が利用できる施設」で13.3%、次いで「天候に左右されずに利用できる施設」が12.0%、喜連川体育館では、「天候に左右されずに利用できる施設」が17.6%。次いで「特定種目に限定されない、より幅広い市民が利用できる施設」で16.4%を占めています。

全体で最も多かった回答は、「天候に左右されずに利用できる施設」が15.4%を占めています。次いで、「特定種目に限定されない、より幅広い市民が利用できる施設」が14.1%、「高齢者、障がい者、子育て世代などが利用しやすい、設備が充実した施設」が13.5%、「安い料金で利用できる施設」が12.0%となっています。

表7-7 今後、優先的に維持・整備していく施設

選択項目		さくらスタジアム	氏家体育館	喜連川体育館	回答数	構成比
(1)	競技人口が多い種目のための施設	13	22	15	50	7.9%
(2)	特定種目に限定されない、より幅広い市民が利用できる施設	12	42	35	89	14.1%
(3)	市民向けの大会、イベント等が開催できる施設	7	27	18	52	8.2%
(4)	プロスポーツなどの大規模な大会、イベント等が開催できる施設	0	13	6	19	3.0%
(5)	天候に左右されずに利用できる施設	17	38	42	97	15.4%
(6)	朝、夜含め、幅広い時間帯に利用可能な施設	10	30	16	56	8.9%
(7)	高齢者、障がい者、子育て世代などが利用しやすい、設備が充実した施設	7	46	32	85	13.5%
(8)	交通アクセスや広い駐車場があるなど利便性の良い施設	0	17	15	32	5.1%
(9)	安い料金で利用できる施設	5	34	37	76	12.0%
(10)	その他	0	8	4	12	1.9%
(11)	無回答	5	39	19	63	10.0%
計		76	316	239	631	100.0%



## 8. 課題の整理

### (1) 社会情勢への対応

さくら市は、旧氏家町と旧喜連川町が2005年に合併し誕生した市で、スポーツ施設は、合併以前に整備された施設が多く、施設の老朽化が進んでいます。

今後、少子高齢化社会や人口減少の中で、老朽化したスポーツ施設すべてを適切に維持管理していくには、多額の建設費と維持管理費が必要となります。「さくら市公共施設等総合管理計画（改訂版）」では、建築物系公共施設を令和4年度から令和38年度までの35年間で更新費用は525.5億で平均年間15.0億円を要する見込みとしています。

一方、公共施設の建設等に要する経費は、令和元年度は14億円で、今後も公共施設等への投資的経費は更に抑制されていくことが見込まれています。

これらを踏まえ、「さくら市スポーツ施設ストック最適化指針」では、市民の負担の増大を招かないよう、スポーツ施設としての利用目的と必要な機能を精査し、最適な施設規模、設備による整備を行うとしています。

また、「さくら市公共施設等総合管理計画（改訂版）」では、建築物系公共施設総量削減目標として、延床面積10%の削減を掲げています。

以上を踏まえ、各施設の点検、診断等を行い、施設の集約化、統合、廃止等を検討し、適正な施設配置計画を策定することが課題となっています。

### (2) スポーツ施設の適正化

令和7年1月から2月に実施したアンケート調査結果では、「週1日以上」運動・スポーツをする方の割合が84.4%を占めています。

実施している種目では、卓球、筋力トレーニング、バレーボール、バドミントンの屋内競技が上位を占め、屋外では、テニス、ウォーキング・ランニング、サッカー、野球、陸上競技などが上位10位内に入っており、各種運動、スポーツ施設の他、学校の体育館を利用し、これらの活動が行なわれています。

第2次さくら市総合計画では、本市の目指す姿として、「充実した生涯スポーツ社会」の実現を掲げ、子どもから高齢者まで誰でも・いつでも・どこでも・いつまでもスポーツを通じて明るく、活力ある生活を送ることができるようスポーツに親しめる環境づくりの推進のため基本事業として、スポーツ施設の整備を掲げています。

市民にスポーツ施設を継続的に提供するとともに、市民が安全・快適に利用できる施設にするため、スポーツ施設の統廃合、長寿命化等個々の施設の方向性を示すことが課題となっています。

### (3)安全性の確保

市内体育館は廃校後の体育館を活用している施設が5施設あり、最も古い喜連川高校跡地体育館は築58年で、その他の施設も築30年以上経過しています。

なかでも喜連川体育館、河戸体育館、穂積体育館、喜連川高校跡地体育館は旧耐震基準の建築で耐震改修が必要とされていますが、補強工事は実施されていない状況にあります。

また、屋外施設でも整備後30年以上経過した施設が7施設あり、テニスコートは表面が劣化し、プレーに支障をきたす状態で、利用者からの改善要望が出されています。老朽化した施設を利用者が安心・安全に快適にスポーツ活動を行うことができる施設への改修・改築が課題となっています。

### (4)利用者ニーズへの対応

令和7年1月から2月に実施したアンケート調査において、今後充実させて欲しいスポーツ施設として、雨天時に利用できる体育館の設置要望が最も多く、32.3%を占めています。

また、近年の猛暑を考慮すると冷暖房完備の体育館は必要な施設となっています。

同調査において、市内スポーツ施設の満足度について訊ねたところ、「満足している」が26.5%、「やや満足している」が35.0%の計61.5%の結果となりました。

意見としては、施設の老朽化やトレーニングルームの設置、体育館が狭い、バリアフリー化していない、トイレが狭い等多種多様で、多くの市民が満足でき、快適に利用できる施設への改修・改築・新設が課題となっています。

## 9. 個別施設の方向性

### 9.1 個別施設の方向性

1次評価及び2次評価結果に基づき、各施設について適用可能な手法、今後の行動計画の検討を行い、個別施設の方向性をまとめました。

#### (1)機能保持(長寿命化)する施設

##### ①氏家体育館

氏家体育館はアリーナ、格技場とも市内で最も稼働率が高く(A)、夜間は約90%を超えている状態にあり、利用者数は約59千人と市内で最も利用者が多い施設で、かつ、収入も多い施設です。

また、災害時には避難所に指定されています。本建築物は昭和52年に建設され、耐震補強工事も実施され、屋根・外壁等も概ね健全な状態を保っています。

今後も市民のニーズに応えるため、計画的に修繕を行い、長寿命化する施設とします。

##### ②鬼怒川運動公園サッカー場

鬼怒川運動公園サッカー場は、鬼怒川の河川敷に整備された施設で稼働率は42%(C)です。利用者数は約10千人で、施設の安全性・機能性・経済性は良、政策優先度も高い施設です。

今後も市民のニーズに応えるため、適正な維持管理を行い、長寿命化する施設とします。

##### ③SAKURA グリーンフィールド

SAKURA グリーンフィールドには、人工芝の本格的なサッカー、フットサルコートが整備され、稼働率は48%(C)ですが、利用者数は約29千人と市内の屋外施設で最も利用者がいる施設で、施設の安全性・機能性・経済性は良、政策優先度も高い施設です。

今後も適正な維持管理を行い、長寿命化する施設とします。

##### ④総合公園さくらスタジアム

総合公園さくらスタジアムは、夜間照明、全天候型舗装のトラックを備え、市民体育祭、陸上競技、サッカーの各種大会、プロサッカーチームの練習等ができる市内で唯一の施設です。

稼働率は22%(D)ですが、利用者数は約15千人で収入も見込め、安全性・機能性・経済性は良、耐震性も有ります。

今後も適正な維持管理を行い、長寿命化する施設とします。

##### ⑤兎田河原グラウンドゴルフ場

兎田河原グラウンドゴルフ場は、荒川の河川敷に整備された施設で安全性・機能性は良、維持管理費も低廉で、かつ、地域住民の健康増進に寄与している施設です。

今後も適正な維持管理を行い、長寿命化する施設とします。

## ⑥鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場

鬼怒川運動公園グラウンドゴルフ場は、鬼怒川の河川敷に整備された施設で安全性・機能性・経済性は良、維持管理費も低廉のため適正な維持管理を行い、長寿命化する施設とします。

## (2)機能保持(機能改修)する施設

### ①喜連川高校跡地体育館

喜連川高校跡地体育館は昭和42年に建設された建築物で、安全性・機能性は良であるが経済性は劣で、耐震補強工事を必要とする施設です。

喜連川体育館が土砂災害警戒区域内にあるため施設の継続が困難なこと、鷺宿体育館・河戸体育館・金鹿体育館・穂積体育館は総量コントロール(集約化)を図る施設となることから、喜連川高校跡地体育館は今後、耐震補強工事を実施し、様々な種目が行える施設にするなど計画的な改修・維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ②喜連川 B&G 海洋センター

喜連川 B&G 海洋センターは令和5年に大規模改修し、安全性・機能性・経済性は良、耐震性も有ります。

稼働率は87%(A)で、利用者数は約6千人ですが、さくら市唯一のプール施設です。

市内に市民への開放が可能な代替施設がないことから、適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ③喜連川高校跡地第1グラウンド

喜連川高校跡地第1グラウンドは、主に軟式野球・硬式野球に利用され、稼働率は21%(D)、利用者数は約4千人です。安全性・機能性は良、経済性は劣ですが政策優先度は高く、市内唯一の硬式野球ができる施設です。

また、多目的利用も可能なため、今後も適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ④総合公園野球場

総合公園野球場は、夜間照明を備え、稼働率は35%(C)、利用者数は約12千人で収入も多く、安全性・機能性・経済性は良で、政策優先度も高い施設です。

軟式野球やソフトボールに利用できる施設のため、今後とも適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ⑤総合公園テニスコート

総合公園テニスコートは、市内で唯一の砂入り人工芝を使用し、一部コートには、夜間照明が設置されています。

稼働率は72%(C)で利用者数は約12千人で、収入が多い施設で安全性・機能性・経済性は良、政策優先度も高いため、適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ⑥総合公園バスケットボールコート

総合公園バスケットボールコートは令和2年に整備された、市内で唯一の屋外バスケットコートです。安全性・機能性・経済性は良、政策優先度も高く、維持管理費は低廉なことから、適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ⑦総合公園さくらスポーツウォール

総合公園さくらスポーツウォールは令和4年に整備された市内で唯一の施設です。安全性・機能性・経済性は良、政策優先度も高く、維持管理費は低廉なことから、適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

### ⑧総合公園ゲートボール場

総合公園ゲートボール場は平成2年に整備されたクレイコートの施設です。安全性・機能性・経済性は良で、政策優先度も高く、維持管理費も低廉なことから、適正な維持管理を行い、機能改修施設とします。

### ⑨菖蒲沢公園多目的広場

菖蒲沢公園多目的広場は平成5年に整備された施設です。安全性・機能性・経済性は良で、政策優先度が高い施設です。

稼働率は15%(D)、利用者数は約4千人ですが、夜間照明が設置され、軟式野球、ソフトボールに利用でき、多目的利用も期待できる施設のため、適正な維持管理を行い、機能改修する施設とします。

## (3)総量コントロール(集約化)する施設

### ①喜連川体育館

喜連川体育館はアリーナの稼働率が全体で79%と高い状態にあり、利用者数は約22千人で、収入も多い施設です。

しかし、本施設は昭和54年に建築され、耐震工事は未実施のうえ、アリーナ天井に雨水進入が見られるなど老朽化しています。

さらに土砂災害警戒区域内に位置しているため、避難所としての使用はできず継続利用が困難となっています。

1次評価及び2次評価とも劣のため、集約化を図る施設とします。

### ②鷺宿体育館

鷺宿体育館は昭和63年に建設された建築物で、安全性・機能性は劣、経済性も劣で、政策優先度も低く、かつ、洪水浸水想定区域(浸水深1~3m)内に位置しています。

屋内施設で唯一となるフットサルができる体育館で、利用頻度も高いため、フットサルが出来る施設への集約化を図る施設とします。

### ③河戸体育館

河戸体育館は昭和53年に建設された建築物で、安全性・機能性は劣、経済性も劣で、政策優先度も低い施設です。

バレーボールやダンス、太鼓等に利用されている施設ですが、構造物設備等の老朽化が進んでおり、利用者も少ない状況にあることから、集約化を図る施設とします。

#### ④金鹿体育館

金鹿体育館は平成元年に建設された建築物で、安全性・機能性は良ですが、経済性は劣で、政策優先度も低い施設です。

バレーボールやダンス等に利用されている施設ですが、構造物・設備等の老朽化が進んでおり、稼働率も(D)と低く、今後も利用の増大が見込めないことから、集約化を図る施設とします。

#### ⑤穂積体育館

穂積体育館は昭和55年に建築された建築物で、安全性・機能性は劣、経済性も劣で、政策優先度も低い施設です。

主に地域住民の利用に供している施設ですが、耐震補強工事が未実施で、構造物・設備等の老朽化が進んでおり、稼働率も(D)と低く、集約化を図る施設とします。

#### ⑥喜連川運動場テニスコート

喜連川運動場テニスコートは平成7年に整備されたハードコートのコートです。安全性・機能性は劣、経済性も劣で、政策優先度も低い施設です。

コートの老朽化が進んでおり、稼働率も(D)と低い施設ですが、主に喜連川地区のテニス教室で利用されている施設であるため、近隣の菖蒲沢公園テニスコートとの集約化を図る施設とします。

#### ⑦喜連川弓道場

喜連川弓道場は平成4年に建設された施設で、安全性・機能性は劣、経済性も劣で、政策優先度も低い施設です。

土砂災害警戒区域に隣接しており、敷地が借地のため借地料の負担が大きい施設ですが、市内で唯一、市民への開放が可能な弓道ができる施設であるため、市内同種の施設への集約化を図る施設とします。

#### (4)総量コントロール(廃止)する施設

次の施設は、令和7年3月31日付けで廃止しました。

##### ①喜連川運動場サッカー場

##### ②総合公園プール

##### ③菖蒲沢公園テニスコート



発行 さくら市  
編集 教育委員会 スポーツ振興課  
〒329-1311  
栃木県さくら市氏家 2730 番地（氏家体育館内）  
TEL 028-682-8888